

授業科目等の概要														
学 科	服飾専門課程			ファッションデザイン科					1年					
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。													
分 類	必修	<input type="radio"/>	選択		配当年次	1	年	学 期	通年		前期	<input type="radio"/>	後期	
種 別	総論							授業形態	講義	<input type="radio"/>	演習		実習	
授業科目	アパレル商品知識							単 位	1単位					
担当教員	一明 豪							職業実践専門課程：企業との連携						
※実務家教員	<input type="radio"/>	アパレル衣料、雑貨の企画制作、舞台衣装制作、ブライダル小物・雑貨のオーダーメイド、テレビ番組スタイリスト等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。												
資格検定	一般財団法人 日本ファッション教育振興協会主催：ファッション販売能力検定3級										必修	<input type="checkbox"/>	選択	<input type="radio"/>
授業概要	ファッション販売能力検定3級の商品知識を基準としてファッションアイテムの知識を身に付ける。シルエット、ディテール、名称などの基本知識に加え、そのアイテムの起源や流行した時代背景などのファッションカルチャーとしての知識も学ぶ。ファッションに対する造詣を深め、企画、生産、販売の分野で活用できる商品知識を身に付ける。													
学習成果	①	アイテム名、ディテールの知識習得。						成績評価方法 (右記の評価を 基準に平均点で 算出)	1	定期試験結果	70	%		
	②	サイズ表記 (JIS規格) の知識習得。							2	提出物/期限遵守		%		
	③	アイテムの起源、時代背景の知識習得。							3	独創性/習熟度		%		
	※	衣服のデザイン知識とサイズ知識 (JIS規格) の習得。							4	意欲・授業態度	30	%		
使 用 材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一般財団法人 日本ファッション教育振興協会：ファッション販売3</li> <li>●KFDオリジナルプリント配布</li> </ul>													

前期授業計画 (4月-9月)			授業目的・準備学習 (予習・復習) 内容
1	1-2	商品分類とサイズ知識	基本的商品分類を理解し、JIS規格をもとにしたサイズ表記の読み取りができるように学習する。ファッション販売3 3章-10に目を通しておくこと。
2	3-4	ボトムスの知識 (スカート、パンツ)	ボトムス (スカート、パンツ) に関するアイテム名、丈の名称といった知識をメインに学習する。ファッション販売3 3章に目を通しておくこと。
3	5-6	シャツブラウスの知識、カラーの知識	シャツのアイテム名とカラーの名称、種類を学ぶことで、商品デザインに対する知識を身に付ける。ファッション販売3 3章に目を通しておくこと。
4	7-8	ワンピースの知識、シルエットの知識	ワンピースのアイテム名を押さえつつ、シルエット名を学ぶ。またシルエットを理解することでデザインの手法に関する知識も得る。ファッション販売3 3章に目を通しておくこと。
5	9-10	カット&ソーンの知識、インナーウェアの知識 ニットウェア、ネックラインの知識	「編み物」としてのニット、カット&ソーン、インナーウェアの特殊性を理解する。アイテム名の理解だけではなくカルチャーとして捉え、時代背景も学ぶ。ファッション販売3 3章に目を通しておくこと。
6	11-12	ジャケットの知識、スーツの知識	ジャケット、スーツの名称、ディテール名を学び、テーラードジャケットの内部構造も理解し、パターン、縫製、面における知識も学ぶ。ファッション販売3 3章に目を通しておくこと。
7	13-14	コートの知識	アウターに関する知識としてコートの名称、ディテール名、そして機能面についての知識を身に付ける。コートに使われる素材についても理解する。ファッション販売3 3章に目を通しておくこと。
8	15-16	服飾雑貨知識	靴、バッグ、アクセサリといったアパレル小物の知識を取り入れる。基本的なものに絞り、コーディネートを意識した品揃えの売り場知識を身に付ける。ファッション販売3 3章に目を通しておくこと。
9	17-18	確認テスト・まとめ	半期の確認テスト、まとめを行う。
10	19-20	確認テスト・まとめ	半期の確認テスト、まとめを行う。
11			
12			
13			
14			
15			
準備学習 (予習・復習)	講義に関しては、1時間の講義に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、15時間の授業をもって1単位とする。		
その他 (授業に際しての注意点)	各学生が授業ごとにアイテムサンプルを持参し、手でアイテムサンプルを見ながら授業を受ける形が望ましい。また2回目以降の授業では、前回の授業内容を理解しているかの復習テストを実施するため、授業前に事前学習をすることが望ましい。		

授業科目等の概要												
学科	服飾専門課程			ファッションデザイン科				1年				
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。											
分類	必修	○	選択	配当年次	1	年	学期	通年		前期	○	後期
種別	総論						授業形態	講義	○	演習		実習
授業科目	アパレル素材 I						単位	1単位				
担当教員	佐野 未来						職業実践専門課程：企業との連携					
※実務家教員	○	アパレルメーカーのパタンナー職として、商品企画、パターン・サンプル作成、生産管理等の職務経験を活かし、実践的な商品企画、パターンメイキング、縫製技術、素材の取り扱いを指導する。										
資格検定												
授業概要	アパレル製品の企画、デザイン、縫製、販売に必要な不可欠な知識である「テキスタイル」。1年次はその基礎知識として、繊維や糸からテキスタイルが出来るまで、ファッション動向を把握し、製品の管理や取り扱いに至るまでを幅広く学ぶ。そして実際に素材を扱いながら、テキスタイルへの理解を深め、手に取ったテキスタイルの素材名、組成、風合いなどをマスターし、そこから各分野（企画、デザイン、縫製、販売）に必要な判断が出来るようになることを目標とする。											
学習成果	<b>①</b> 繊維の種類について理解する。 <b>②</b> 織り、編み、加工について理解する。 <b>③</b> 繊維取り扱い表示記号について理解する。 ※ テキスタイルの使い方を提案できるスキルの習得。						成績評価方法 (右記の評価を基準に平均点で算出)		1 定期試験結果 80 % 2 提出物/期限遵守 % 3 独創性/習熟度 % 4 意欲・授業態度 20 %			
使用教材	●文化学園 文化事業局 テキスタイルハンドブック ●KFDオリジナルプリント配布											

前期授業計画(4月-9月)				授業目的・準備学習(予習・復習)内容			
1	1-2	アパレル素材とは、繊維とは、繊維の種類(天然繊維) (プリントNo. 1-5)	アパレル素材とは何かその重要性を説き、天然繊維の綿、麻について知り、その長所と短所について理解を深め、実際に手に取りながら感覚を覚える。繊維の種類を復習しておくこと。				
2	3-4	繊維の種類(天然繊維)、(化学繊維)(プリントNo. 6-10)	天然繊維の毛、絹、再生繊維について知り、その長所と短所について理解を深め、実際に手に取りながら感覚を覚える。実際の素材を手に取り、復習する。				
3	5-6	繊維の種類(化学繊維)(プリントNo. 11-14)	半合成繊維、合成繊維について知り、その長所と短所について理解を深め、実際に手に取りながら感覚を覚える。実際の素材を手に取り、復習する。				
4	7-8	糸とは布地とは(織物)(プリントNo. 16-19)	スパン糸、フィラメント糸、甘撫糸、強撫糸など、糸の構造を知り、布地になるとどうなるか実際の糸やテキスタイルを触り理解を深める。実際の素材を手に取り、復習する。				
5	9-10	布地とは(織物)(プリントNo. 20-21)	平織り、綾織りについて構造を知り、実際に織ってみることで更に理解を深める。実際の素材を手に取り、復習する。				
6	11-12	布地とは(織物)(プリントNo. 22)	朱子織りについて構造を知り、実際に織ってみることで更に理解を深める。実際の素材を手に取り、復習する。				
7	13-14	布地とは(編み物)、布地とは(レース、網地、ネット)(プリントNo. 23-26)	編み(ニット)について構造を知り、その他のレース、網地、ネットについても理解を深める。実際の素材を手に取り、復習する。				
8	15-16	布地とは(加工)、素材感性(風合い)(プリントNo. 27-30)	布地の加工について理解を深め実際に手に取り確かめる。また、風合いと材質感感性軸に当てはめながら確認をする。商品リサーチを通し復習する。				
9	17-18	柄(プリントNo. 31-32)	基本的な柄を配布プリントや実際のテキスタイルを見て理解を深める。教科書に目を通し確認しておくこと。				
10	19-20	洗濯表示、染み抜き、ドライクリーニング、繊維取り扱い表示記号(プリントNo. 33-36)	染みについて理解をし、どう対処すべきかを学ぶ。また、取り扱い表示記号について理解を深めるが、古着も普及しているため旧JISについても学ぶ。各自の服に付いているタグも確認する。				
11	21-22	素材感性(イメージ)	8大感性をもとに、イメージにあった素材を運動させ、理解を深める。これまで習得してきた内容が活かされる。				
12	23-24	アパレル素材論まとめ・解答(まとめプリントNo. 1-8)	これまでの学習の成果をまとめプリントを通して復習し、再度確認をする。				
13							
14							
15							
準備学習(予習・復習)	講義に関しては、1時間の講義に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、15時間の授業をもって1単位とする。						
その他(授業に際しての注意点)	授業を聞くだけでなく、スワッチや実際のアイテムや生地、糸などを手に取って確認することが大事である。それらの態度を成績評価に反映させる。						

授業科目等の概要												
学科	服飾専門課程		ファッションデザイン科					1年				
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。											
分類	必修	<input type="radio"/>	選択	<input type="checkbox"/>	配当年次	1	年	学期	通年	<input type="radio"/>	前期	後期
種別	流通・販売					授業形態	講義	<input type="checkbox"/>	演習	<input type="radio"/>	実習	<input type="checkbox"/>
授業科目	キャリアトレーニング					単位	2単位					
担当教員	月橋 一浩・三好 真代					職業実践専門課程：企業との連携						
※実務教員	<input type="radio"/>	月橋：人事業務経験者。人事評価や就職情報提供を行う会社を経営。実践的ビジネスマナーの知識・技術を教授する。 三好：人材紹介、再就職支援経験者。個と組織のウェルビーイングを支援する事業を展開。キャリア開発を教授する。										
資格検定												
授業概要	学生自身が、自分の将来をより良いものにするためには「何が必要か」「どんな職業に就きたいか」などを考え、就職をゴールではなく、スタートであり通過点である事を認識する。授業内容は講師の話を一方向的に聞くのではなく、グループ内で考えたり、発表したり、ゲーム形式でのワークを行い、頭や体・口を動かしながら授業を進める。											
学習成果	①	今後のキャリアプラン（ゴール）を明確にし行動につなげる。					成績評価方法 (右記の評価を 基準に平均点で 算出)	1	定期試験結果		%	
	②	人生設計において有効なコミュニケーションスキルを身につける。						2	提出物/期限遵守	60	%	
	③	難易度の高い就活をクリアするためのノウハウを学ぶ。						3	独創性/習熟度		%	
	※	就職活動に有効なビジネスマナーの習得。						4	意欲・授業態度	40	%	
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オリジナルプリント（テキスト）配布</li> <li>●ゲームやローブレ、グループワークを多用した授業内容</li> </ul>											

前期授業計画（4月-9月）			授業目的・準備学習（予習・復習）内容
1	1-2	オリエンテーション（アイスブレイク・自己紹介・ビジネスマナーとは・ゴール提示）	ゴールを提示し、これから何を考え、勉強していくのかを明確にする。自分自身のゴールを見据えることで、今後の行動につながる。（マナーと発声練習の復習）
2	3-4	人生100年時代のキャリア形成	将来のキャリアについて考える。（キャリアプラン）（復習：キャリアシミュレーションゲーム終了後の自分の課題を整理しておくこと）
3	5-6	ライフプランニング、マネープランニング	人生の各ステージにおけるプランニングとマネープランニングについて考える。（予習：自分なりの10年後、20年後、30年後どうなりたいか、未来を考えておく。）
4	7-8	社会人とは（社会人と学生の違い）、仕事をするこの意味とは	社会人と学生の違いを自ら考えることで認識し、社会人になる心構えができるようになる。仕事の意味を問うことで、自分で答えを見つけていく。（復習：仕事をするこの意味を各自深める）
5	9-10	質問力・価値観分析シート作成	ワークショップを通じてコミュニケーションスキル向上を目指す。自分の価値観について考える。（復習：自分の価値観を就職にどう結びつけるかを整理しておくこと）
6	11-12	ほめるワーク・座学（報連相のポイント）・カードゲーム	ワークショップを通じてコミュニケーションスキル向上を目指す。報連相のポイントを学ぶ。（復習：報連相&ほめる）
7	13-14	自己理解・カードゲーム・座学（アサーティブ）	ワークショップを通じてコミュニケーションスキル向上を目指す。コミュニケーション手法について学ぶ。
8	15-16	自己分析を深掘りする、1~8小テスト	これまでの自己分析を整理して深掘りする。
9	17-18	言葉遣いの基本（敬語、クッション言葉、間違った日本語）	敬語の基本的な形から場面に応じた敬語、ビジネス敬語も取り入れる。ビジネスで必要なクッション言葉の習得や間違った日本語の違いを理解する。（復習：日々の生活で実践する）
10	19-20	プレゼンテーション手法	自分の考えや言いたい事を、他の人に分かりやすく伝えるスキルを習得する。①目的意識、②まとめ方、③事例で語る、④質問する、⑤動く（復習：発表での自身の課題を明確にすること）
11	21-22	ワークショップ・文章作成の基本	ワークショップを通じてコミュニケーションスキル向上を目指す。伝わりやすい文章作成方法を学ぶ。
12	23-24	プレゼンテーション・スピーチの基本（表現力、伝える力、人前で話す力、発表練習）	プレゼンテーションの基本を学び、グループで自分の意見を人前で発表できるよう練習を実施する。（予習：PPTや制作物を準備・復習：発表での自身の課題を明確にすること）
13	25-26	プレゼンテーション・スピーチの基本（表現力、伝える力、人前で話す力、発表練習）	プレゼンテーションの基本を学び、グループで自分の意見を人前で発表できるよう練習を実施する。（予習：PPTや制作物を準備・復習：発表での自身の課題を明確にすること）
14	27-28	9~13小テスト、グループディスカッション（1）	集団の中で自分の資質に合った言動や振る舞いができる能力を身に付け、チームワークの重要性を理解する。（復習：グループディスカッションでの自身の課題を明確にすること）
15	29-30	模擬グループディスカッション（2）（課題認識、役割認識、グループ発言、フィードバック）	グループディスカッションでの課題認識、役割認識、表情、発言、声の大きさなど、面接官と学生側両方を体験し、相互に評価し合い学んでいく。（復習：模擬ディスカッションでの自身の課題を明確にすること）

後期授業計画 (10月-3月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-2	就職活動の基本(企業研究・職種理解)	就職活動の基本を学ぶ。企業研究のポイントを学び、職種理解を深める。 (予習:事前に企業研究シートの記入を課題とする)
2	3-4	自己分析から自己PRへ(PREP法)	自己分析の結果から、自己PRへ展開する手法を学習する。文章の作成後、PREP法に分解し、実際に履歴書内に書き込んでいく。 (復習:履歴書の見直し)
3	5-6	自己PR・志望動機のための自己分析(マインドマップ・ロジックツリー作成)	自己PR・志望動機で、正しく自分を知ってもらうには、いかに自分を知り得るかが重要となる。マインドマップやロジックツリーを作成することで、自己の信念や資質、要求を深掘りし、把握・理解する。(復習:作成物の見直し)
4	7-8	自己PR・志望動機のための自己分析(自分史作成)	正しく自分を知ってもらうには、いかに自分を知り得るかが重要となる。自分史を作成することで、自己の信念や資質、要求を深掘りし、把握・理解する。(予習:小中高時代を振り返っておく)
5	9-10	自己分析まとめ1およびフィードバック	2~4のまとめと講師からのフィードバック。 (復習:フィードバック理解をさらに深めること)
6	11-12	自己分析まとめ2およびフィードバック	2~4のまとめと講師からのフィードバック。 (復習:フィードバック理解をさらに深めること)
7	13-14	履歴書・エントリーシート、ビジネス文書の書き方1、写真撮影のコツ(ルール、項目の意味、表現方法)	履歴書とエントリーシートを書くために必要なルール、項目を知り、理解できるようになる。項目ごとに書き込む内容を自分で文作でき、就職するに望ましい表現力を身に付ける。
8	15-16	履歴書・エントリーシート、ビジネス文書の書き方2(ルール、項目の意味、表現方法)	履歴書とエントリーシートを書くために必要なルール、項目を知り、理解できるようになる。項目ごとに書き込む内容を自分で文作でき、就職するに望ましい表現力を身に付ける。
9	17-18	模擬集団面接1 (自己分析、面談態度、発言、フィードバック)	集団面接での適切な言葉遣い、表情、発言、立ち居振る舞い、声の大きさなど、面接官と学生側両方を経験し、相互に評価し合い学んでいく。(予習:自身の長所短所を具体的な事例で語る)
10	19-20	はがきの書き方・手紙やメールの書き方・御礼状	マナーを習得し、実践で学んだ事を就職活動で活用出来る。 (復習:資料を見直し、理解を深めること)
11	21-22	模擬集団面接2 (自己分析、面談態度、発言、フィードバック)	集団面接での適切な言葉遣い、表情、発言、立ち居振る舞い、声の大きさなど、面接官と学生側両方を経験し、相互に評価し合い学んでいく。(予習:一生懸命取り組んだ事を具体的な事例で語る)
12	23-24	模擬WEB面接 (通信環境、視線、自己分析、発言、フィードバック)	WEB面接での通信環境整備、言葉遣い、表情、自己分析、声の大きさなど、面接官と学生側両方を経験し、相互に評価し合い学んでいく。(予習:ZOOMやTEAMSを使っておく)
13	25-26	模擬個人面接 (面接態度、笑顔、自己分析、発言、フィードバック)	個人面接での適切な言葉遣い、表情、立ち居振る舞い、声の大きさなど、面接官と学生側両方を経験し、相互に評価し合い学んでいく。(復習:模擬面接の自身の課題を明確にすること)
14	27-28	就活向けグループディスカッション1	企業側の視点を理解し、必要となる心構え・役割・評価ポイントを習熟。また、集団の中で自分の考えを伝えるスキルを身につける。
15	29-30	就活向けグループディスカッション2	企業側の視点を理解し、必要となる心構え・役割・評価ポイントを習熟。また、集団の中で自分の考えを伝えるスキルを身につける。
準備学習 (予習・復習)		1時間の演習に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、20時間の授業をもって1単位とする。	
その他 (授業に際しての注意点)		全体を通して参加型授業のため、積極的に参加、発言出来るよう心がける。	

# 授業科目等の概要

学 科	服飾専門課程		ファッションデザイン科				1年						
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。												
分 類	必修	<input type="radio"/>	選択		配当年次	1 年		学 期	通年	<input type="radio"/>	前期		後期
種 別	パソコン				授業形態	講義		演習	<input type="radio"/>	実習			
授業科目	グラフィック I				単 位	2単位							
担当教員	中島 宏樹				職業実践専門課程：企業との連携								
※実務家教員	<input type="radio"/>	グラフィックデザイン企業で培ったグラフィックデザイナーの経験を活かした実践的なレイアウトデザイン・パッケージデザインに加え高い、より効率的なソフトウェア操作方法を教授する。											
資格検定											必修		選択
授業概要	Adobe Illustratorの基本操作を前期で習得する。また、画像をスキャンしAdobe Photoshopの復習も兼ねる。制作物を写真撮影しデータ化、ロゴ・台帳等の制作を通してグラフィックデザインを学ぶ。また、株式会社ハードの職業実践で取り組んだ姉妹ブランドのロゴを制作し、その後の広報物に活用する事でブランディング意識を高め、実務的提案力を習熟する。服飾デザインと連動し、データ化した際に魅力的になる資料作りを目指す。												
学習成果	①	Adobe Illustratoの基本操作を身につける。				成績評価方法 (右記の評価を 基準に平均点で 算出)	1	定期試験結果			%		
	②	見やすいレイアウト力を身につける。					2	提出物/期限遵守	50		%		
	③	資料制作する、グラフィック技術を高める。					3	独創性/習熟度	40		%		
	※	効果的なグラフィックデザインの可能性を広げる。					4	意欲・授業態度	10		%		
使 用 材	●KFDオリジナル実習プリント配布												

前 期 授 業 計 画 (4月-9月)				授業目的・準備学習(予習・復習)内容			
1	1-2	Ai	イラストレーター基本操作・保存方法の徹底	新規ファイル作成・ツール説明など基本操作の解説。			
2	3-4	Ai	図形作成とカラーと文字打ち・フォント説明	図形の作成・カラー配置・文字打ち方などの基本操作。			
3	5-6	Ai	図形作成とパスファインダー・ツール説明	パスファインダーを理解することにより、図形の可能性を広げる。			
4	7-8	Ai	パスの理解・ペンツールの使い方とレイヤー構造の理解	ペンツールを使ったトレース方法とレイヤーの解説。			
5	9-10	Ai	ペンツールを使ったトレース (Tシャツ)	ペンツールを使ってトレースをする。			
6	11-12	Ai	イラレでの画像のクリッピングマスクと画像配置	画像の用意と画像配置の方法とマスクの取り方の実践。			
7	13-14	Ai	ポスタートレース 画像埋め込み・アウトライン	サンプルポスターをトレースすることで技術を定着させる。			
8	15-16	Ai	オリジナル Tシャツデザイン	オリジナルデザインを制作する。			
9	17-18	Ps	フォトショップの基本操作 画像サイズと保存方法の徹底	新規ファイル作成・ツール説明など基本操作の解説。			
10	19-20	Ps	画像の色の付け方 自動選択・ブラシ・色調補正	自動選択とブラシツールを使い分けて画像に色をつける。			
11	21-22	Ps	写真画像のマスク・合成・レタッチ・色相調整 1	フォトショップでのマスクの取り方やレタッチを理解する。			
12	23-24	Ps	写真画像のマスク・合成・レタッチ・色相調整 2	フォトショップでのマスクの取り方やレタッチを理解する。			
13	25-26	Ai_Ps	ポスタートレース 写真画像のマスク・合成など	Ai・Psを適切に使用しポスターをトレースする。			
14	27-28	Ai_Ps	企画書トレース レイアウト・アートボード	画面構成やレイアウトの構造を学ぶ。			
15	29-30	Ai_Ps	合成した写真画像をイラレに配置してポスターデザイン	習得した技術でオリジナルポスターをデザインする。			

通年

2026年 ファッションデザイン科1年シラバス

後期授業計画 (10月-3月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-2	Ai_Ps 前期のまとめ復習	イラレとフォトショップの復習。
2	3-4	Ai ペンツールでスカートとパンツをトレース	パスファインダ・リフレクトや合体など使用してトレースする。
3	5-6	Ai Tシャツとヘンリーネックをトレース	パスファインダ・リフレクトや合体など使用してトレースする。
4	7-8	Ai オリジナルTシャツデザイン	パスファインダ・リフレクトや合体など使用してトレースする。
5	9-10	Ai シャツフロントとシャツバックをトレース	パスファインダ・リフレクトや合体など使用してトレースする。
6	11-12	Ai オリジナルシャツデザイン	トレースした素材をもとにオリジナルのデザインを作成。
7	13-14	Ai ジャケットフロントをトレース	パスファインダ・リフレクトや合体など使用してトレースする。
8	15-16	Ai ジャケットバックをトレース	パスファインダ・リフレクトや合体など使用してトレースする。
9	17-18	Ai ブランド背表紙デザイン 1	オリジナルブランドのビジュアルをデザインする。
10	19-20	Ai ブランド背表紙デザイン 2	オリジナルブランドのビジュアルをデザインする。
11	21-22	Ai 企画書トレース 1・アートボードと画像配置の理解	企画書をトレースすることで画面構成やレイアウトを理解する。
12	23-24	Ai 企画書トレース 2・アートボードと画像配置の理解	企画書をトレースすることで画面構成やレイアウトを理解する。
13	25-26	Ai_Ps オリジナルブランドポスターデザイン 1	習得した技術を使いオリジナルブランドのビジュアルをデザインする。
14	27-28	Ai_Ps オリジナルブランドポスターデザイン 2	習得した技術を使いオリジナルブランドのビジュアルをデザインする。
15	29-30	Ai 課題まとめ アートボード理解	アートボードを使い制作した課題をまとめる。
準備学習 (予習・復習)		演習に関しては、1時間の演習に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、20時間の授業をもって1単位とする。	
その他 (授業に際しての注意点)		授業意欲として日頃からファッション雑誌やWebページ等を「グラフィック」という視点で「見る」事を推奨する。講義内容に対しても積極的に質問をし、自己で理解することが望ましい。授業毎に課される制作物は、期限内制作を厳守すること。また、採点后、再提出の際、何を見落としていたのかを理解し、また積極的に質問し改善する事が望ましい。必要教材(持参するデータ)を忘れると受講困難になるので注意が必要である。	

授業科目等の概要												
学科	服飾専門課程			ファッションデザイン科					1年			
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。											
分類	必修	<input type="radio"/>	選択		配当年次	1	年	学期	通年	<input type="radio"/>	前期	後期
種別	服飾造形					授業形態	講義		演習		実習	<input type="radio"/>
授業科目	ソーイング I					単位	8単位					
担当教員	坂本 布美代・佐野 未来					職業実践専門課程：企業との連携						
※実務教員	<input type="radio"/>	(坂本) オーダーメイド、洋服教室の主幸とリフォーム店勤務の経験を活かし、人の体型を理解したうえで、縫製しやすく合理的でスピーディーなファーストパターン、工業用パターンの作成と創造を実現させる縫製の指導を行う。(佐野) アパレルメーカーのパターン職として、商品企画、パターン・サンプル作成、生産管理等の職務経験を活かし、実践的な商品企画、パターンメイキング、縫製技術、素材の取り扱いを指導する。										
資格検定												
授業概要	デザイナー、企画職を目指すために必要なスキルとなる「ソーイング」。構造を理解しディテールまで細かなデザインや仕様が書けるよう、一年を通してキュロット、シャツブラウス、文化祭オリジナルワンピース、裏付きジャケットスーツのアイテムを制作し、基本知識とプロセスを理解しながら進めることを目標とする。部分的なディテール実習も含めながら衣服形成の基礎制作技術を習得する。											
学習成果	<b>①</b> 縫い代の寸法通りに縫える技術を習得。 <b>②</b> 素材に合ったアイロンの使い方（スチーム、ドライ）を習得。 <b>③</b> 構造を理解し自ら考えることの出来る縫製の技術を習得する。 <b>※</b> デザイン・素材・パターンに適した縫製技術を習得。		成績評価方法 (右記の評価を基準に平均点で算出)		1	定期試験結果		%	2	提出物/期限遵守	80	%
					3	独創性/習熟度	10	%	4	意欲・授業態度	10	%
使 用 材	●文化ファッション大系 服飾造形講座①②③④ ●KFDオリジナル実習プリント配布											

前期授業計画 (4月-9月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-10	ミシン基礎縫い(直線・曲線縫い)/手縫い基礎・付属類つけ方	工業用直線本縫いミシンに慣れ、直線、カーブが縫えるようにする。また、手工程で必要な基本的な手縫いの基礎で理解を深める。
2	11-20	縫い代の始末:部分縫い・裁断・縫製	軽衣料に必要な様々な縫い代の始末について理解を深める。
3	21-30	キュロット裁断・縫製1	股ぐりのカーブのミシンとロックミシンのかけ方、ゴムの入れ方、3つ折りミシンのかけ方を習得する。
4	31-40	キュロット裁断・縫製2	股ぐりのカーブのミシンとロックミシンのかけ方、ゴムの入れ方、3つ折りミシンのかけ方を習得する。
5	41-50	ファスナー部分縫い (フラットニットファスナー、コンシールファスナー)	スカート制作に必要なフラットニットファスナー、コンシールファスナーの縫い方を習得する。
6	51-60	オリジナルスカート裁断・縫製1	コンシールファスナー、裾上げ、ベルト付け等、スカート制作に必要な基本的な仕様を理解する。
7	61-70	オリジナルスカート裁断・縫製2	コンシールファスナー、裾上げ、ベルト付け等、スカート制作に必要な基本的な仕様を理解する。
8	71-80	ディテール各種部分縫い・裁断・縫製(衿3種・前立て・剣ポロ)	シャツ制作に必要な衿付け、前立ての仕様、工程と縫い方を習得する。 あきの始末として剣ポロの仕様、工程と縫い方を習得する。
9	81-90	オリジナルシャツ裁断・縫製1	シャツの衿付け、袖付け、剣ポロ、前立ての縫製仕様を理解する。 ボタンホール、ボタン付けの方法を理解する。
10	91-100	オリジナルシャツ裁断・縫製2	シャツの衿付け、袖付け、剣ポロ、前立ての縫製仕様を理解する。 ボタンホール、ボタン付けの方法を理解する。
11	101-110	オリジナルシャツ裁断・縫製3	シャツの衿付け、袖付け、剣ポロ、前立ての縫製仕様を理解する。 ボタンホール、ボタン付けの方法を理解する。
12	111-120	人体の方位 (ボディライン入れ)	原型とボディの関係を理解し、9号ボディにボディラインテープを垂直水平に入れるようにする。 事前の配布プリントに目を通し確認しておくこと。
13	121-130	トワルの基礎知識(地直し・ピン打ち) タイトスカートドレーピング	シーチングの地直し、タイトスカートのドレーピングを通してピンの打ち方と種類を習得し、ドレーピングの基本的な技術を習得する。事前の配布プリントに目を通し確認しておくこと。
14	131-140	ベーシックワンピースサンプル裁断・縫製	ワンピース制作に必要なセーラーあき(見返し始末)と袖ぐりの見返し仕立てについて縫い方を習得する。
15	141-150	文化祭作品(ワンピース):素材づくり①	オリジナルデザインのワンピースを制作する為の。各自が細かい仕様について調べ、これまで習得した技術を活かし、自分で考えて縫うことを目的とする。

後期授業計画 (10月-3月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-12	文化祭作品(ワンピース):裁断・縫製①	オリジナルデザインのワンピースを制作する。各自がオリジナルテキストに合わせた仕様で、サンプル縫製で学んだ技術を基に自分で考えて縫うことを目的とする。
2	13-24	文化祭作品(ワンピース):裁断・縫製②	オリジナルデザインのワンピースを制作する。各自がオリジナルテキストに合わせた仕様で、サンプル縫製で学んだ技術を基に自分で考えて縫うことを目的とする。
3	25-36	裏付タイトスカート:表地・裏地裁断・縫製	中肉ウールの扱い、裁断方法、ウールの縫製・アイロンかけ、裏地のキセの入れ方を習得する。
4	37-48	裏付タイトスカート:縫製	ウールの縫製・アイロンかけ、裏地のキセの入れ方、既製品仕立てのパンツ・コンシールファスナー付け方を習得する。
5	49-60	片玉縁フラップポケット(三面構成):部分縫い裁断・縫製	中肉ウールでの片玉縁フラップポケットの縫製方法を習得する。フラップの考え方や手がどこから入るのか、袋布(別裁ち)の構造はどうなっているのかについても理解を深める。
6	61-72	総裏ジャケット:ウール地直し/表地裁断・芯貼り・再裁断・テープ貼り	中肉ウールの扱い、粗裁ち、再裁断の考え方、構造を考えた各箇所貼るテープの考え方について理解を深める。
7	73-84	総裏ジャケット:裏地裁断	裏地の裁断方法について理解を進める。
8	85-96	総裏ジャケット:表地縫製1	パネルのカーブの縫い方、アイロンでのくせとり方法、衿のつけ方について習得する。
9	97-108	総裏ジャケット:表地縫製2	パネルのカーブの縫い方、アイロンでのくせとり方法、衿のつけ方について習得する。
10	109-120	総裏ジャケット:裏地縫製	裏地の縫製方法、キセの考え方について理解を進める。
11	121-132	総裏ジャケット:袖縫製	2枚袖を縫い、あき見せについて理解を深め、くせとりやいせ殺しなどのアイロン技術を習得する。
12	133-144	総裏ジャケット:身頃に袖付け	袖付けのいせ配分、山布、肩パットのつけ方を習得する。
13	145-156	総裏ジャケット:仕上げ	裾まつり、星止めなど、仕上げの方法を習得する。
14	157-168	総裏ジャケット:釦ホールと釦付け/仕上げアイロン	カボタン、鳩目穴の考え方について理解を深め、仕上げアイロンのかけ方も習得する。事前にボタンのサイズ、ホールの位置を確認しておくこと。
15	169-180	トップスのドレーピング	トップスのドレーピングを通してピン打ち方と種類を復習し、ドレーピングの基本的な技術を習得する。事前にシーチングの字直しを行うこと。
準備学習 (予習・復習)		ソーイングのような実習教室等における授業に関しては、教室外における1時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、30時間の授業をもって1単位とする。	
その他 (授業に際しての注意点)		時間内に進める作業は必ず終わるようにする。日頃から習得した技術を継続して復習し、レベルアップを図ることが望ましい。また、確認ポイントでは必ず教員のチェックを受けるようにし、間違いを早めに気づくようにすると完成度も上がる。	

授業科目等の概要												
学科	服飾専門課程			ファッションデザイン科					1年			
D P / 学科人材育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。											
分類	必修	○	選択	配当年次	1	年	学期	通年	前期	○	後期	
種別	総論						授業形態	講義	○	演習	実習	
授業科目	デザイン基礎						単位	1単位				
担当教員	今村 大祐						職業実践専門課程：企業との連携					
※実務家教員	○	アパレル企業の営業企画での実務経験及び国家資格技能検定・婦人子供服製造技能士1級取得にて培ってきた、実務性の高い服飾造形に関する知識を教授する。										
資格検定											必修	選択
授業概要	視覚伝達としてのコミュニケーション・デザイン。生産デザインとしてのプロダクト・デザイン。環境・空間デザインとしてのスペース・エンバイロメント・デザイン。それらを通して私たちの生活にどれだけ多くのデザインが浸透しているかを知り、五感を使いアイデア発想のソースを探ることを目的とする。後期では基本的な図形から発想した平面デザイン、移調の考えをベースにした配色構成、1枚の紙から立体をデザインする立体構成を行い、色、物、形の視点から造形のバランスを整える技術を習得する。											
学習成果	① デザインの役割を理解する。 ② 五感を使った観察力の習得。 ③ 広い視野に基づくデザイン発想力の習得。 ※ 適切なデザインを導き出す指針となる知識の習得。						成績評価方法 (右記の評価を基準に平均点で算出)		1 定期試験結果 2 提出物/期限遵守 60 % 3 独創性/習熟度 30 % 4 意欲・授業態度 10 %			
使用教材	●KFDオリジナル実習プリント配布 ●クロッキーブック											

前期授業計画 (4月-9月)				授業目的・準備学習 (予習・復習) 内容			
1	1-2	デザインとは何か (美について)		アパレルから離れた、デザインの仕組みの理解。			
2	3-4	デザインの世界 (観察力からのデザイン発想)		五感を使った観察の重要性、スケッチによる観察の仕方の習熟。			
3	5-6	デザインと芸術 デザイン史 (産業革命～近代デザイン)		市場性を含めた、発想から形になる、という一連の流れへの理解。1800年代から近代に至るまでのデザインの歴史の概略の理解。			
4	7-8	デザインの起こり・西洋美術史		デザインの起こりを、産業革命以降の潮流から理解する。西洋美術史の概略を理解し、デザイン発想に活かす基礎知識を習得する。			
5	9-10	デザインと諸科学 (デザインしたものには意味がある)、デフォルメ【そのデザインへの影響と相互関係】		観察からの発想、その転用や、より特徴的に形をとらえる、という事への理解習熟。			
6	11-12	図形の基礎。丸・四角・三角		基本となる幾何学模様、丸、四角、三角、それぞれが象徴する意味を知り、平面構成のデザイン発想につなげる。			
7	13-14	コンポジション基礎-対比・整列・シンメトリー・アシンメトリー・リズムの効果		構成における基本的理論の理解、習熟。			
8	15-16	コンポジション-平面構成 (点・線・面) 1		平面での基本的構成を、実習作品から理解、習熟する。また、与えられた条件のデザイン活動への理解習熟を促す。			
9	17-18	コンポジション-平面構成 (点・線・面) 2		平面での基本的構成を、実習作品から理解、習熟する。また、コンセプトを意識した構成を行う。			
10	19-20	コンポジション-平面構成 (点・線・面) 3		平面での基本的構成を、実習作品から理解、習熟する。制作した作品を俯瞰で見ること、コンセプトとの矛盾点を見つけ修正する。			
11	21-22	作品に対するプレゼンテーション (合評会) 1		作品プレゼンテーションの資料作成や演出についての理解、習熟。			
12	23-24	コンポジション-平面構成 (配色) 1		色彩計画を含めた、平面の基本的構成を、実習作品から理解、習熟する。また、与えられた条件のデザイン活動への理解習熟を促す。			
13	25-26	コンポジション-平面構成 (配色) 2		色彩計画を含めた、平面での基本的構成を、実習作品から理解、習熟する。また、また、コンセプトを意識した構成を行う。			
14	27-28	コンポジション-平面構成 (配色) 3		色彩計画を含めた、平面での基本的構成を、実習作品から理解、習熟する。制作した作品を俯瞰で見ること、コンセプトとの矛盾点を見つけ修正する。			
15	29-30	作品に対するプレゼンテーション (合評会) 2 まとめ		作品プレゼンテーションの資料作成や演出についての理解、習熟。学んだ内容をまとめ、反復する。			
準備学習 (予習・復習)	講義に関しては、1時間の講義に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、15時間の授業をもって1単位とする。						
その他 (授業に際しての注意点)	デザインの基礎的な部分を、色彩計画を含め、実習を通して理解する。同時に、与えられた条件でデザインを行い、正しく伝達するという実務としてのデザイン活動、プレゼンテーション活動についての基礎を学び、発想の活用を行う。						

## 授業科目等の概要

学 科	服飾専門課程		ファッションデザイン科				1年															
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。																					
分 類	必修	<input type="radio"/>	選択	<input type="checkbox"/>	配当年次	1	年	学 期	通年	<input type="radio"/>	前期	<input type="checkbox"/>	後期	<input type="checkbox"/>								
種 別	デザイン				授業形態	講義	<input type="checkbox"/>	演習	<input type="radio"/>	実習	<input type="checkbox"/>											
授業科目	ドローイング I				単 位	2単位																
担当教員	舞田 章子				職業実践専門課程：企業との連携																	
※実務家教員	<input type="radio"/>	他校講師ならびに自身のコンクール入賞経歴を経て評価を得ている。ドローイングの基礎力を伝授する。																				
資格検定												必修	<input type="checkbox"/>	選択	<input type="checkbox"/>							
授業概要	<p>人体のプロポーションを理解し基礎力をつけるため、短時間で特徴を掴むクロッキーを常に行い、平面画および素材表現に必要な基本的な着色を学習する。1年次では基本的な描き方の練習を積みながら洋服の構造を読み取り、絵で表現する力を身につけることを目的とする。</p>																					
学習成果	<p>① 人体のプロポーションを理解する。</p> <p>② ボディバランスを理解し、様々なポーズの描き方を習得する。</p> <p>③ ドローイングに必要な画材を使用し、基本的な着色方法を学ぶ。</p> <p>※ 基礎能力を固めデザインを伝える事が出来るようにする。</p>				成績評価方法 (右記の評価を 基準に平均点で 算出)		1	定期試験結果		%	2	提出物/期限遵守	80	%	3	独創性/習熟度	10	%	4	意欲・授業態度	10	%
使 用 材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●KFDオリジナル実習プリント配布</li> <li>●ドローイングセット</li> <li>●コレクション雑誌</li> </ul>																					

前 期 授 業 計 画 (4月-9月)				授業目的・準備学習(予習・復習)内容			
1	1-2	ドローイングとは。画材の説明/線の練習		一年次で習得するドローイング内容を確認し目標を自己設定する。使用する画材の説明。鉛筆、ミリペンを実際に使用してみる。			
2	3-4	人体のバランスの法則 ボディの描き方		人体バランスを8頭身で理解し、鉛筆を使用し線に慣れ、人体のプロポーションを理解する。			
3	5-6	顔と髪の描き方		鉛筆を使用し、顔のバランス鉛筆で髪の流れの描き方を学ぶ。			
4	7-8	様々なポーズ練習		人体のバランスの復習も兼ねて、様々なポーズを描いてみる。			
5	9-10	トレースの仕方/陰影の入れ方		基本的なトレースの仕方を習得し、鉛筆の強弱で描く事により陰影の付け方を習得する。			
6	11-12	ポーズ、顔、髪を鉛筆で描く		繰り返し基礎である人体を鉛筆で描き、人体のバランスを習得する。			
7	13-14	平面画の基礎 ドレープの描き方		デザイナーに必須である、平面画の描き方を学ぶ。また布地の柔らかさの特性を描けるようになる。			
8	15-16	平面画の基礎 スカート・ブラウス		デザイナーに必須である、平面画の描き方を学ぶ。アイテムのデテールやシルエットを理解する。			
9	17-18	平面画の基礎 ワンピース・パンツ		デザイナーに必須である、平面画の描き方を学ぶ。アイテムのデテールやシルエットを理解する。			
10	19-20	着装バランス		今まで描いてきたポーズに衣服を着装させる。			
11	21-22	文化服装学院連鎖校ファッション画コンクール 画材の使用法		文化服装学院連鎖校ファッション画コンクールに参加するにあたり基礎的な画材の使用法を学ぶ。			
12	23-24	文化服装学院連鎖校ファッション画コンクール 下書き		文化服装学院連鎖校ファッション画コンクールに向けて下書きを行う。B3サイズの大きさに配置バランスを考えて下書きを行う。			
13	25-26	文化祭作品 下書き		前期に学んだことを活かし、文化祭展示に向けて下書きを行う。			
14	27-28	文化祭作品 色鉛筆・マーカーの使い方		前期に学んだことを活かし、文化祭展示に向けて着色を行う。			
15	29-30	文化祭作品 着色/まとめ		前期に学んだことを活かし、文化祭展示に向けて、仕上げを行う。			

通年

2026年 ファッションデザイン科1年シラバス

後期授業計画 (10月-3月)		授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-2	透明水彩絵の具の塗り方 基礎的な水彩画の着彩方法を習得する。筆の使い方も学ぶ。
2	3-4	不透明水彩絵の具の塗り方 不透明水彩の特徴を知り、絵の具の塗り方を習得する。
3	5-6	パステルの塗り方 パステルの特徴を知り、パステルの塗り方を習得する。
4	7-8	素材表現1 薄物から、毛足の長い素材の描き方を習得する。
5	9-10	素材表現2 薄物から、毛足の長い素材の描き方を習得する。
6	11-12	柄表現1 チェック・ヒョウ柄・レースなどの特殊素材の柄の描き方を身に付ける。
7	13-14	柄表現2 チェック・ヒョウ柄・レースなどの特殊素材の柄の描き方を身に付ける。
8	15-16	マーカーの描き方 マーカーの特徴を知り、絵の具の塗り方を習得する。
9	17-18	スーツの下書き1 ソーイングで制作する、スーツを描く。着用したものと平面画を描く。
10	19-20	スーツの下書き2 ソーイングで制作する、スーツを描く。着用したものと平面画を描く。
11	21-22	スーツの下書き3 ソーイングで制作する、スーツを描く。着用したものと平面画を描く。
12	23-24	スーツ着彩1 上記で描いた下絵の着彩を行う。
13	25-26	スーツ着彩2 上記で描いた下絵の着彩を行う。
14	27-28	スーツ着彩3／ボディバランステスト 上記で描いた下絵の着彩を行う。また、1年間の最終確認としてボディバランスが把握出来ているかの確認テストを行う。
15	29-30	ファイル整理／まとめ 1年間仕上げてきた絵をファイリングし、復習も兼ねて見直す。
準備学習 (予習・復習)		演習に関しては、1時間の演習に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、20時間の授業をもって1単位とする。
その他 (授業に際しての注意点)		ドローイングは毎日描く事が好ましい。ボディバランスは描いた分技術は上達し、スピードも上がる。

# 授業科目等の概要

学 科	服飾専門課程		ファッションデザイン科				1年													
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。																			
分 類	必修	<input type="radio"/>	選択	<input type="checkbox"/>	配当年次	1	年	学 期	通年	<input type="radio"/>	前期	<input type="checkbox"/>	後期	<input type="checkbox"/>						
種 別	服飾造形				授業形態	講義	<input type="checkbox"/>	演習	<input type="radio"/>	実習	<input type="checkbox"/>									
授業科目	パターンメイキングⅠ				単 位	8単位														
担当教員	坂本 布美代・佐野 未来				職業実践専門課程：企業との連携															
※実務教員	<input type="radio"/>	(坂本) オーダーメイド、洋裁教室の主事とリフォーム店勤務の経験を活かし、人の体型を理解したうえで、縫製しやすく合理的でスピーディーなファーストパターン、工業用パターンの作成と創造を実現させる縫製の指導を行う。(佐野) アパレルメーカーのパターン職として、商品企画、パターン・サンプル作成、生産管理等の職務経験を活かし、実践的な商品企画、パターンメイキング、縫製技術、素材の取り扱いを指導する。																		
資格検定	一般財団法人 日本ファッション教育振興協会：パターンメイキング技術検定試験3級										必修	<input type="radio"/>	選択	<input type="checkbox"/>						
授業概要	アパレル企業、企画者に適応したパターンのとらえ方を習得する。パターン制作の作図理論から始まり、各種アイテム、ディテールの基本作図、各種シルエットの展開方法やパターン操作を学ぶ。また、工業用パターンを作る上で必要な知識と、企画に基づく知識を身につける。後期はパターンメイキング技術検定3級に合格することを目標とする。																			
学習成果	① 基本的な軽衣料の作図や展開方法を習得する。 ② 工業用パターンについて理解を深める。 ③ パターンメイキング技術検定3級取得。 ※ アパレル企業デザイナーに必要なパターンの基礎スキルを習得。		成績評価方法 (右記の評価を 基準に平均点で 算出)		1	定期試験結果	50	%	2	提出物/期限遵守	20	%	3	独創性/習熟度	20	%	4	意欲・授業態度	10	%
使 用 材	●文化ファッション大系 服飾造形講座①②③④ ●作図道具一式 ●一般財団法人 日本ファッション教育振興協会：パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック ●KFDオリジナル実習プリント配布																			

前 期 授 業 計 画 (4月-9月)		授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-7	線の引き方、エプロン1/4作図、縫い代の付け方1/4、エプロン実物作図、キュロット1/4作図・縫い代1/4・実物作図
		定規の使い方、1/4、1/2縮尺定規の目盛りの読み方を理解する。
2	8-14	原型とは、衣料パターン表示記号、原型操作(ダーツの分割)
		原型の各部分名称について把握し、胸ぐせダーツ、肩ダーツ移動について理解する。
3	15-21	タイトスカート1/2作図
		スカートの基本であるタイトスカートの作図を通して、ダーツやヒップのゆとり、裾まわり等、スカート作図の考え方を理解する。
4	22-28	スカート展開(セミタイト、フレア、ヒップボーン、ゴアード)ギャザー展開方法
		タイトスカートから様々なデザインへ展開する。1つのアイテムから展開する方法を学ぶ。ギャザーの展開方法を学ぶ。
5	29-35	スカート1/2縫い代付け
		スカートの縫い代の付け方、裏なしの縫い代角処理を理解する。
6	36-42	シャツ基本型(シャツブラウス1/2:台衿付シャツカラー、シャツスリーブ)
		基本のシャツスリーブと台衿付きシャツカラーについて理解する。
7	43-49	シャツブラウス1/2縫い代付け、前立ての種類と仕様
		シャツブラウスの縫い代の付け方、裏なしの縫い代角処理を理解する。前立ての種類と仕様の理解を深める。
8	50-56	衿各種(スタンド、フラット、オープン、タイ・ボーン、制作物の衿を含む)
		衿の各デザインを縮尺で作図し、理解を深め、オリジナルシャツへ応用する。
9	57-63	袖各種(パフ・フレア)
		袖原型を使用し、袖の各デザインを縮尺で作図し、理解を深める。
10	64-69	シャツブラウス実物作図、縫い代付け1
		オリジナルシャツデザインを実物作図へ落とし込む。ドロップショルダー、ヨーク、前立てなどの理解を深める。
11	70-76	シャツブラウス実物作図、縫い代付け2
		オリジナルシャツデザインを実物作図へ落とし込む。ドロップショルダー、ヨーク、前立てなどの理解を深める。
12	77-83	ワンピース(フィット・トラペーズ)
		ワンピースの基本パターンを理解する。
13	84-90	ワンピース(ハイウエスト・プリンセス)
		ワンピースの基本パターンを理解する。
14	91-97	文化祭作品テキスタイル作成
		文化祭作品のオリジナルテキスタイルを作成。
15	98-100	文化祭作品テキスタイル作成・まとめ
		文化祭作品のオリジナルテキスタイルを作成。半期のまとめを行う。

通年

2026年 ファッションデザイン科1年シラバス

後期授業計画 (10月-3月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-8	ワンピース工業用パターン	有り型を基にワンピースの工業用パターンを作成する。
2	9-16	裏付タイトスカート表地・裏地1/2縫い代、裏付タイトスカート実物作図、縫い代付け1	縮尺で作図したノートをもとに実物作図と工業用パターンを作成する。既製服仕立てのパンツ、コンシールファスナーのパターンを理解する。
3	17-24	裏付タイトスカート表地・裏地1/2縫い代、裏付タイトスカート実物作図、縫い代付け2	縮尺で作図したノートをもとに実物作図と工業用パターンを作成する。既製服仕立てのパンツ、コンシールファスナーのパターンを理解する。
4	25-32	パターンメイキング技術検定実技対策1	パターンメイキング技術検定3級取得へ向けて、筆記対策と実技対策を行う。筆記対策ではテキストを使用し、実技対策では本番を想定したトライアルを計4回行うことで合格率100%を目指す。
5	33-40	パターンメイキング技術検定実技対策2	パターンメイキング技術検定3級取得へ向けて、筆記対策と実技対策を行う。筆記対策ではテキストを使用し、実技対策では本番を想定したトライアルを計4回行うことで合格率100%を目指す。
6	41-48	総裏ジャケット(パネルライン)、1/2作図	四面構成のジャケットを作図し、基本的なジャケットパターンを理解する。
7	49-56	総裏ジャケット(三面構成)、1/2作図	三面構成のジャケットを作図し、基本的なジャケットパターンを理解する。
8	57-64	2枚袖1/2作図、いせ配分の仕方	2枚袖の考え方を理解し、いせ配分の仕方を習得する。
9	65-72	ポケット1/2作図(片玉縁フラップポケット)	片玉縁フラップポケットの作図とパーツを理解する。
10	73-80	総裏ジャケット表衿展開1/2、見返し展開1/2、裏パターン1/2	制作する生地の厚みに合わせて展開を行う。裏パターン作成の考え方を理解する。
11	81-88	総裏ジャケット、型出し	有り型を基に、デザインに合わせてパターンを修正し型出しを行う。
12	89-96	総裏ジャケットパターンチェック、縫い代(直角処理)	直角処理の仕方を習得し、縫い代への理解を深める。
13	97-104	総裏ジャケット裏地工業用パターン作成、縫い代付け	裏地パターンと縫い代付けの理解を深め、工業用パターンを作成する。
14	105-112	総裏ジャケット裏地工業用パターン作成、縫い代付け	裏地パターンと縫い代付けの理解を深め、工業用パターンを作成する。
15	113-120	復習・まとめ(ジャケット)	ジャケットのパターンを復習し、2年次に向けて理解を深める。半期のまとめを行う。
準備学習 (予習・復習)		演習に関しては、1時間の演習に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、20時間の授業をもって1単位とする。	
その他 (授業に際しての注意点)		講義では、できるだけ丁寧にノートを取り、積極的に質問をし、授業に参加することが望ましい。パターンの引き方の手順、考え方、定規の使い方等のノートを取り、自ら復習することで理解がさらに深まる。実物制作では、パターンを理解し素早く引けるよう、日頃からの復習が必要である。	

授業科目等の概要												
学 科	服飾専門課程			ファッションデザイン科				1年				
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。											
分 類	必修	○	選択	配当年次	1	年	学 期	通年	前期	○	後期	
種 別	服飾造形				授業形態	講義	演習	○	実習			
授業科目	ハンドワーク				単 位	1単位						
担当教員	一明 豪				職業実践専門課程：企業との連携							
※実務家教員	○	アパレル衣料、雑貨の企画制作、舞台衣装制作、ブライダル小物・雑貨のオーダーメイド、テレビ番組スタイリスト等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。										
資格検定											必修	選択
授業概要	衣服を装飾するための基礎的な技術やテキスタイルデザインの知識や技法を習得し、作品制作やデザイン発想に活かす。											
学習成果	① 基礎的なハンドワーク技術の取得。 ② 作品課題に応用できるテクニックの習得。 ③ アパレル商品のデザイン性や商品価値を高める。 ※ 製造業における手作業の技術向上。				成績評価方法 (右記の評価を基準に平均点で算出)		1	定期試験結果		%		
							2	提出物/期限遵守	70	%		
							3	独創性/習熟度	20	%		
							4	意欲・授業態度	10	%		
使 用 材	●文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ ●KFDオリジナル実習プリント配布											

前期授業計画 (4月-9月)				授業目的・準備学習(予習・復習)内容			
1	1-2	エンブroidアリー 色系刺繍		代表的な刺繍である色系刺繍の基本となるアウトラインステッチやチェーンステッチ、サテンステッチなど8つの刺し方を理解し、実践・習得する。			
2	3-4	エンブroidアリー 色系刺繍		代表的な刺繍である色系刺繍の基本となるアウトラインステッチやチェーンステッチ、サテンステッチなど8つの刺し方を理解し、実践・習得する。			
3	5-6	エンブroidアリー ビーズ・スパングル		装飾表現の中で最も美しく、輝かしく表現できる技法を理解し、実践・習得する。			
4	7-8	エンブroidアリー ビーズ・スパングル		装飾表現の中で最も美しく、輝かしく表現できる技法を理解し、実践・習得する。			
5	9-10	エンブroidアリー スモッキング		オートクチュールだけでなく既製服にも用いられるスモッキングの技法の基本となるパターンズモッキングとラティスモッキングを理解し、実践・習得する。			
6	11-12	エンブroidアリー作品 まとめ①		エンブroidアリーの技術を活かした雑貨作品を制作。			
7	13-14	エンブroidアリー作品 まとめ②		エンブroidアリーの技術を活かした雑貨作品を制作。			
8	15-16	染色技法① (染色実験)		染色に関する基本的な知識と技法を学び、絞り染め、タイダイ染めなどの染色技法を用いて、Tシャツを製作。			
9	17-18	染色技法② (絞り染め)		染色に関する基本的な知識と技法を学び、絞り染め、タイダイ染めなどの染色技法を用いて、Tシャツを製作。			
10	19-20	染色技法③ (絞り染め)		染色に関する基本的な知識と技法を学び、絞り染め、タイダイ染めなどの染色技法を用いて、Tシャツを製作。			
11	21-22	シルクスクリーンプリント① 図案・スクリーン作成		シルクスクリーンプリントに関する基本的な知識を学び、テキスタイルをデザインし、制作する。			
12	23-24	シルクスクリーンプリント② プリント実習		シルクスクリーンプリントに関する基本的な知識を学び、テキスタイルをデザインし、制作する。			
13	25-26	テキスタイル作成実習 (マーブリング、オパール加工、絞り加工、フリーレース)		様々な素材加工の技法に触れ、素材からデザインを提案する力を習熟する。			
14	27-28	テキスタイル作成実習 (マーブリング、オパール加工、絞り加工、フリーレース)		様々な素材加工の技法に触れ、素材からデザインを提案する力を習熟する。			
15	29-30	まとめ		半期のまとめを行う。			
準備学習 (予習・復習)	演習に関しては、1時間の演習に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、20時間の授業をもって1単位とする。						
その他 (授業に際しての注意点)	日頃から、感性を養い、デザイン発想、制作物に活かしてほしい。						

授業科目等の概要													
学 科	服飾専門課程			ファッションデザイン科					1年				
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。												
分 類	必修	<input type="radio"/>	選択	配当年次	1	年	学 期	通年		前期	<input type="radio"/>	後期	
種 別	流通・販売					授業形態	講義	<input type="radio"/>	演習		実習		
授業科目	ファッションビジネス知識 I					単 位	1単位						
担当教員	横内 裕子					職業実践専門課程：企業との連携							
※実務家教員	<input type="radio"/>	小売業での接客経験と現場の知識技術をもとに、接客の基礎を検定合格を通して身につくよう指導。											
資格検定	一般財団法人 日本ファッション教育振興協会：ファッション販売能力検定3級									必修	<input type="radio"/>	選択	<input type="radio"/>
授業概要	12月に受験する検定で、ファッション販売能力検定3級の合格を目標とし、主に販売知識分野に特化して学ぶ。（商品知識分野は他の授業にて補填）「ファッション販売能力検定3級概論」として、ファッションビジネスの基本知識となる内容を通し、ファッション業界で、消費者との最前線で働く販売員の重要性を理解する。また、基礎的な計数知識を習得する。同時に、挨拶をはじめとした礼儀やマナーを身に付け、社会人として自信を持って行動できることを目指す。												
学習成果	①	ファッションビジネスの川下の仕事の重要性を理解する。					成績評価方法 (右記の評価を 基準に平均点で 算出)	1	定期試験結果	50	%		
	②	計数知識を理解する。						2	提出物/期限遵守	40	%		
	③	12月の検定試験合格を目指す。						3	独創性/習熟度		%		
	※	3級合格を通してファッションビジネスの基礎を習得する。						4	意欲・授業態度	10	%		
使 用 材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一般財団法人 日本ファッション教育振興協会：ファッション販売3</li> <li>●KFDオリジナルプリント配布</li> <li>●過去問題</li> </ul>												

前期 授業計画 (4月-9月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-2	自己紹介・1章ファッション販売知識	小売業の流れと販売の基礎知識を理解し、元気よい挨拶を習慣とする。 ファッション販売3・1章に目を通しておくこと。
2	3-4	5章マーケティング	マーケティングの概念と、その重要性を理解する。 ファッション販売3・5章に目を通しておくこと。
3	5-6	6章販売スタッフの業務	川下に位置する販売員の業務について理解する。 ファッション販売3・6章に目を通しておくこと。
4	7-8	A科目復習問題	授業で学んだことを実演、問題演習を復習することで定着させる。 ファッション販売3・1章、5章、6章を復習しておくこと。
5	9-10	2章ファッション販売技術	ファッション販売を通して、購買心理や包装、贈答マナーを理解する。 ファッション販売3・2章に目を通しておくこと。
6	11-12	4章売り場づくり	売り場づくりの重要性を理解する。 ファッション販売3・4章に目を通しておくこと。
7	13-14	B科目復習問題	授業で学んだことを問題演習で復習することで定着させる。 ファッション販売3・2章、4章を復習しておくこと。
8	15-16	計数知識の理解	店舗で扱う基本的な計数知識を理解する。 ファッション販売3・6章-4に目を通しておくこと。
9	17-18	過去問題演習	授業で学んだことを問題演習で復習することで定着させる。
10	19-20	過去問題解説、復習、まとめ	問題解説、復習を通して全体のまとめを行う。
11			
12			
13			
14			
15			
準備学習 (予習・復習)	講義に関しては、1時間の講義に対し、教室外における2時間程度の準備 または学習を必要とすることを考慮し、15時間の授業をもって1単位とする。		
その他(授業 に際しての注 意点)	授業意欲として日頃から織研新聞や、雑誌、インターネットニュース等で「ファッションビジネス」の動きをとら える、という視点で読む事を推奨する。講義内容に対しても積極的に質問をし、自己で理解することが望ましい。		

# 授業科目等の概要

学 科	服飾専門課程	ファッションデザイン科	1年																
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。																		
分 類	必修 <input type="radio"/>	選択 <input type="checkbox"/>	配当年次 1 年 学 期 通年 <input type="radio"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/>																
種 別	デザイン		授業形態 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="radio"/> 実習 <input type="checkbox"/>																
授業科目	ファッション色彩		単 位 2単位																
担当教員	平井 優子		職業実践専門課程：企業との連携																
※実務家教員	<input type="radio"/> 財団法人日本色彩研究所色彩指導者であり、文部省認定色彩能力検定1級をはじめ各種色彩検定で1級を取得。中学校や専門学校での講師経験を活かし色彩の基礎知識、配色を指導。																		
資格検定	一般財団法人 日本ファッション教育振興協会：ファッション色彩能力検定3級		必修 <input type="radio"/> 選択 <input type="checkbox"/>																
授業概要	ファッション業界の各職種に必要な感性スキル「色＝カラーコーディネート」。1年次は業界で必要とされる基礎知識、色を使うための基本的スキル（三属性の理解）（物理的・心理的側面の理解）（色が齎すコンセプトの考え）（業界での色の役割）を習得することを狙いとする。実施方法は、講義及び、配色実習（カラーカード）を通して、ファッション色彩検定3級合格レベルの知識習得を目標とする。 ※前・後期レギュラーな回数で行うが、通年で換算することとする。																		
学習成果	① 色の効果、役割を理解する。 ② 色を見分け、色の三属性を理解し、表示できるスキルを取得。 ③ 色の特性を理解し、配色の効果を表現するスキルを取得。 ※ 色の使い方を提案できるスキルの習得。	成績評価方法 (右記の評価を基準に平均点で算出)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>定期試験結果</td><td>20</td><td>%</td></tr> <tr><td>2</td><td>提出物/期限遵守</td><td>60</td><td>%</td></tr> <tr><td>3</td><td>独創性/習熟度</td><td>10</td><td>%</td></tr> <tr><td>4</td><td>意欲・授業態度</td><td>10</td><td>%</td></tr> </table>	1	定期試験結果	20	%	2	提出物/期限遵守	60	%	3	独創性/習熟度	10	%	4	意欲・授業態度	10	%
1	定期試験結果	20	%																
2	提出物/期限遵守	60	%																
3	独創性/習熟度	10	%																
4	意欲・授業態度	10	%																
使 用 材	●一般財団法人 日本ファッション教育振興協会：ファッション色彩 [ I ] ●KFDオリジナル実習プリント配布 ●JIS BASIC COLOR140																		

前 期 授 業 計 画 (4月-9月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-2	生活における色彩の働き「生活の中の色彩」「色彩と価値観」「色彩の機能」	色が生活の中でどのような意味を持ちどのように効果を与えているのか、また、色が人間に働きかける力や色彩の機能を理解する。
2	3-4	ファッションにおける色彩の役割「服装と色彩」「ファッションと色彩」	ファッションにおける色彩の機能的な役割と心理的な役割や色彩の表現的な役割を理解する。
3	5-6	色の三属性「色を体系的にとらえるために」「有彩色と無彩色」	色を取り扱うために、演習を通して色を整理し体系的にとらえる。
4	7-8	色の三属性「色相(Hue)」①	配色する上で必要な色の感覚「三属性」の属性「色相＝色み」の基本を、色みを見分ける演習を通して理解を深める。
5	9-10	色の三属性「色相(Hue)」②	配色する上で必要な色の感覚「三属性」の属性「色相＝色み」の基本を、色みを見分ける演習を通して理解を深める。
6	11-12	色の三属性「明度(Value)」	配色する上で必要な色の感覚「三属性」の属性「明度＝明るさの違い」の基本を色の明るさを、演習を通して体感理解を深める。
7	13-14	色の三属性「彩度(Chroma)」①	配色する上で必要な色の感覚「三属性」の属性「彩度＝鮮やかさの違い」の基本を色の強さを、演習を通して体感理解を深める。
8	15-16	色の三属性「彩度(Chroma)」②	配色する上で必要な色の感覚「三属性」の属性「彩度＝鮮やかさの違い」の基本を色の強さを、演習を通して体感理解を深める。
9	17-18	ヒュー&トーン	色を感覚的に利用する上で、「Hue&Tone」は必須である。形式的にトーンの配置とトーンのイメージを通して理解を深める。
10	19-20	色の成り立ちと光と色	色の成り立ちに必要な要素と物理的、心理的な色の理解。光の性質や物体と光源色を理解する。
11	21-22	三原色と混色	色料の三原色と色光の三原色の特徴と混色について演習を通して理解する。
12	23-24	眼球の仕組み	眼球の仕組みを知り、色を感じる仕組みを理解する。
13	25-26	色彩と心理「色の見え」①	隣接された色がどのように見えるのか色の相対的な現象を理解し、配色効果を知る。
14	27-28	色彩と心理「色の見え」②	隣接された色がどのように見えるのか色の相対的な現象を理解し、配色効果を知る。
15	29-30	覚え返し(半期のポイントをおさらい)	ノートのまとめをはじめ、受講した内容を再度おさらい。

通年

2026年 ファッションデザイン科1年シラバス

後期授業計画 (10月-3月)			授業目的・準備学習 (予習・復習) 内容
1	1-2	色彩の感情効果①	三属性やトーンごとの色のイメージや感情効果を理解し、カラーコーディネートに活かせる知識を習得する。
2	3-4	色彩の感情効果②	三属性やトーンごとの色のイメージや感情効果を理解し、カラーコーディネートに活かせる知識を習得する。
3	5-6	配色の基礎	配色とは？類似の調和と対照の調和を理解する。
4	7-8	配色の基礎「色相を基準にした配色」	配色の基本でもある色相を基準にした配色効果を体感し理解する。
5	9-10	配色の基礎「トーンを基準にした配色」①	配色の基本でもあるトーンを基準にした配色効果を体感し理解する。
6	11-12	配色の基礎「トーンを基準にした配色」②	配色の基本でもあるトーンを基準にした配色効果を体感し理解する。
7	13-14	配色の基礎「色相とトーンを基準にした配色」①	実際に配色する上で、色相とトーンの二つの要素を組み合わせた配色パターンを理解する。
8	15-16	配色の基礎「色相とトーンを基準にした配色」②	実際に配色する上で、色相とトーンの二つの要素を組み合わせた配色パターンを理解する。
9	17-18	色彩構成の基礎「安定と変化」	配色の「構成」を知り、三属性を視点に置いた安定と変化の構成を理解する。
10	19-20	色彩構成の基礎「基調色と配合色」	色彩構成の基本的な考え方である「基調色と配合色」を理解する。コレクション雑誌等でどのような色彩構成が使われているのかを日頃から意識する。
11	21-22	色彩構成のテクニック①	色彩構成の様々なテクニックを理解する。コレクション雑誌等でどのような色彩構成が使われているのかを日頃から意識する。
12	23-24	色彩構成のテクニック②	色彩構成の様々なテクニックを理解する。コレクション雑誌等でどのような色彩構成が使われているのかを日頃から意識する。
13	25-26	ファッション産業における色彩の役割①	ファッション産業における色彩の役割を理解し、企画、デザイン、染色、販売する上で意識的に色彩を活用できるようにする。
14	27-28	ファッション産業における色彩の役割②	ファッション産業における色彩の役割を理解し、企画、デザイン、染色、販売する上で意識的に色彩を活用できるようにする。
15	29-30	覚え返し (半期のポイントをおさらい)	ノートのまとめをはじめ、受講した内容を再度おさらい。
準備学習 (予習・復習)		演習に関しては、1時間の演習に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、20時間の授業をもって1単位とする。	
その他 (授業に際しての注意点)		<p>○授業意欲として日頃からコレクション雑誌等を「色」という視点で見読する事を推奨する。講義内容に対しても、わからない事は積極的に質問をし、各自理解することが望ましい。</p> <p>○授業毎に配布される課題は、提出期限を厳守すること。また、採点后、再提出の際、何を見落としていたのかを理解し、積極的に質問し改善する事が望ましい。必要教材 (配色カード) を忘れると受講困難になるので注意が必要である。</p>	

# 授業科目等の概要

学 科	服飾専門課程		ファッションデザイン科				1年							
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。													
分 類	必修	<input type="radio"/>	選択	<input type="checkbox"/>	配当年次	1	年	学 期	通年	<input type="radio"/>	前期	<input type="checkbox"/>	後期	<input type="checkbox"/>
種 別	流通・販売				授業形態	講義	<input type="checkbox"/>	演習	<input type="radio"/>	実習	<input type="checkbox"/>			
授業科目	市場調査 I				単 位	1単位								
担当教員	一 明 豪				職業実践専門課程：企業との連携							<input type="radio"/>		
※実務家教員	<input type="radio"/>	アパレル衣料、雑貨の企画制作、舞台衣装制作、ブライダル小物・雑貨のオーダーメイド、テレビ番組スタイリスト等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。												
資格検定											必修	<input type="checkbox"/>	選択	<input type="checkbox"/>
授業概要	アパレル企業の殆どが行っている「市場調査」。ソーイングで制作するアイテムを中心に調査し、実習に反映させることを目的とする。更に考える力を身につけ、社会とファッションへの興味・理解を深める。豊かな感性を育てる為、日頃から自分の感性と共鳴する物、想像を掻き立てる物を収集し、クロッキー帳に表現し常にネタ帳を増やし続けることを目的とする。													
学習成果	①	市場の動向を把握し、売れ筋商品の分析・理解を深める。				成績評価方法 (右記の評価を 基準に平均点で 算出)	1	定期試験結果		%				
	②	定点観測を行い商品の動きを把握しデザインに活かす技術の習得。					2	提出物/期限遵守	80	%				
	③	色々なところへの興味を掻き立て、自身のネタとして収集出来る。					3	独創性/習熟度		%				
	※	制作アイテムに沿った売れ筋のデザイン提案が出来るスキルの習得。					4	意欲・授業態度	20	%				
使 用 材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ファッション雑誌 ●コレクション雑誌</li> <li>●ファッション用語辞典</li> <li>●KFDオリジナル実習プリント配布</li> </ul>													

前 期 授 業 計 画 (4月-9月)				授業目的・準備学習(予習・復習)内容			
1	1	ファッションとは/マーケティングとは/トレンドとは(コレクション)/織研新聞、WWDについて	ファッションの動向や市場について織研新聞やWWDなどの情報誌を用いて説明し、理解を深める。				
2	2	ブランド調査について	年間を通してベンチマークするブランド調査について説明。調査ブランドを決定する。※ブランドはオケージョンに幅のあるブランドが好ましい。				
3	3	ターゲット、コンセプトについて	製品企画の根幹となるターゲット、コンセプトについて理解し、調査対象ブランドのコンセプト、ターゲットを調査しMAPを制作する。				
4	4	ブランド調査①：スカート	ソーイングアイテムに合わせ、対象ブランド、競合ブランドのスカートを調査。シルエット、素材、ディテール、カラー展開などを調査し売れ筋アイテムを把握。				
5	5	ブランド調査②：シャツブラウス	ソーイングアイテムに合わせ、対象ブランド、競合ブランドのシャツブラウスを調査。シルエット、素材、ディテール、カラー展開などを調査し売れ筋アイテムを把握。				
6	6	ブランド調査③：ブランドイメージ、素材、色・柄、ディテール	ブランドイメージを掴む為に、対象ブランド及び、競合ブランドのVP及び素材、色・柄、ディテール、価格等を調査する。				
7	7	ブランド調査④：ブランドイメージ、素材、色・柄、ディテール	ブランドイメージを掴む為に、対象ブランド及び、競合ブランドのVP及び素材、色・柄、ディテール、価格等を調査する。				
8	8	ブランド調査⑤：素材、技法、ディテール調査	ワンピース制作に向けて、秋冬コレクションのテキスタイルトレンドを調査。				
9	9	ブランド調査⑥：素材、技法、ディテール調査	ワンピース制作に向けて、面白い素材や技法、ディテールを数多く調査。				
10	10	シャツ&スカート商品企画書制作	ブランド調査を基にしたシャツ&スカートのコンセプトイメージMAP、商品企画書、仕様書を作成する。				
11	11	ブランド調査⑦：ワンピース	文化祭ワンピース制作に向けて、対象ブランド及び競合ブランドのワンピースドレスを調査。				
12	12	文化祭作品素材リサーチ	文化祭ワンピース制作に向けて、対象ブランドをイメージするモチーフを調査。				
13	13	文化祭作品素材サンプル	文化祭ワンピース制作に向けて、対象ブランドをイメージする素材サンプルを作成。				
14	14	文化祭作品企画書制作	文化祭作品のコンセプトイメージMAP、商品企画書、仕様書を作成する。				
15	15	企画書制作、半期まとめ	対象ブランドのコンセプト、ターゲット、リサーチ内容のまとめ。				

通年

2026年 ファッションデザイン科1年シラバス

後期授業計画 (10月-3月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1	商品企画書	商品企画書に必要とされる、ブランドコンセプトMAP、ターゲットMAPのまとめ。
2	2	ブランド商品調査⑧：スーツ	ソーイングアイテムに合わせ、スーツを調査。ターゲットの違いによる、シルエット、デザイン、着丈、カラー展開などを調査し売れ筋アイテムを把握する。
3	3	ブランド調査⑨：ブランドイメージ、素材、色・柄、ディテール	ブランドイメージを掴む為に、対象ブランド及び、競合ブランドのVP及び素材、色・柄、ディテール、価格等を調査する。
4	4	スーツ商品企画	ターゲットに合わせた売れるスーツを企画する。ターゲットMAP、コンセプトMAPを制作。色展開、素材、価格などを含め商品企画する。
5	5	ブランド調査⑩：ブランドイメージ、素材、色・柄、ディテール	ブランドイメージを掴む為に、対象ブランド及び、競合ブランドのVP及び素材、色・柄、ディテール、価格等を調査する。
6	6	職業実践専門課程：企業が求める商品について	企業が求める職商品企画を理解する。
7	7	職業実践専門課程：トレンドリサーチ	商品企画を行ううえで重要となるトレンドをアイテム、色柄、ディテール、素材の要素でリサーチする。
8	8	職業実践専門課程：コンセプト・ターゲット・テーマ設定	商品企画のコンセプト・ターゲット・テーマをグループ毎に設定。イメージマップを作成する。
9	9	職業実践専門課程：商品企画	コンセプト・ターゲット・テーマに基づき、トレンド調査等を行い、リメイク商品を企画する。
10	10	職業実践専門課程：商品企画	コンセプト・ターゲット・テーマに基づき、トレンド調査等を行い、リメイク商品を企画する。
11	11	職業実践専門課程：商品企画中間プレゼンテーション	コンセプト・ターゲット・テーマに基づき、トレンド調査等を行い企画したリメイク商品を提案し、サンプル制作する企画を選定する。
12	12	職業実践専門課程：サンプル制作	コンセプト・ターゲット・テーマに基づき、トレンド調査等を行い、リメイク商品を企画し、サンプル商品を制作する。
13	13	職業実践専門課程：サンプル制作	コンセプト・ターゲット・テーマに基づき、トレンド調査等を行い、リメイク商品を企画し、サンプル商品を制作する。
14	14	職業実践専門課程：最終プレゼンテーション	商品化を目標にサンプル商品を提案し、改善点などのフィードバックを頂く。
15	15	まとめ	半期のまとめを行う。
準備学習 (予習・復習)		演習に関しては、1時間の演習に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、20時間の授業をもって1単位とする。	
その他 (授業に際しての注意点)		製品企画、提案の根拠となる情報の収集、分析、考察を日頃から意識する。	

授業科目等の概要															
学科	服飾専門課程 <b>ファッションデザイン科</b> 1年														
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。														
分類	必修	<input type="radio"/>	選択	<input type="checkbox"/>	配当年次	1	年	学期	通年	<input type="radio"/>	前期	後期			
種別	デザイン						授業形態	講義	<input type="checkbox"/>	演習	<input type="radio"/>	実習			
授業科目	服飾デザイン I						単位	3単位							
担当教員	一明 豪						職業実践専門課程：企業との連携					<input type="radio"/>			
※実務家教員	<input type="radio"/>	アパレル衣料、雑貨の企画制作、舞台衣装制作、ブライダル小物・雑貨のオーダーメイド、テレビ番組スタイリスト等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。													
資格検定												必修	<input type="checkbox"/>	選択	<input type="checkbox"/>
授業概要	服飾デザインは「着る」ことに着目し、デザインすることを学ぶ。特に、造形的技術の3要素である「形・色・素材」に機能的価値を加えて構成する力を身に付ける演習を行う。また、五感を意識し行動する力、想像力を豊かにし創造性が刺激され、論理的に探究する能力を身に付けるため、日頃から行っている「リサーチブック」をもとに、アイデア発想および商品のデザインに取り組む。														
学習成果	①	観察するスキルを習得する。						成績評価方法 (右記の評価を基準に平均点で算出)	1	定期試験結果		%			
	②	考えるスキルを習得する。							2	提出物/期限遵守	50	%			
	③	伝えるスキルを習得する。							3	独創性/習熟度	30	%			
	※	感性を形にし、商品デザインを発想できるスキルを習得する。							4	意欲・授業態度	20	%			
使 用 材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化ファッション体系 服飾関連専門講座⑨ ●KFDオリジナル実習プリント配布</li> <li>●一般社団法人 日本フォーマル協会：フォーマルウェアルールブック</li> <li>●WWD ●コレクション雑誌 ●参考書籍</li> </ul>														

前期 授業計画 (4月-9月)			授業目的・準備学習 (予習・復習) 内容
1	1-2	マイフェイバリット	自らのファッション感性を可視化し、アイデアが生まれる方法を理解し、よく観察し考える力を理解する。
2	3-4	服飾デザインの基礎：面 (シルエット)	服飾における面 (シルエット) に注目する。服の輪郭線であるシルエットの特徴を理解する。服飾における点、線、面に注目する。
3	5-6	服飾デザインの基礎：形態 (シンメトリー/アシンメトリー)	対称、非対称を理解してデザインする力を習得する。
4	7-8	服飾デザインの基礎：点・線 (形の見え方)	服飾における点・線・錯視に注目し特徴を理解する。
5	9-10	服飾デザインの基礎：コンポジション (構成) /プロポーシオン	服飾における構成やゴールデンプロポーシオンに触れ理解を深めデザインする力を習熟する。
6	11-12	デザインとイメージ：10代感性分類 (イメージマップ)	感性分類を理解し、さらに深めるためグラフィックとして構成する。その際、よく観察することで「伝えるスキル」を習得する。
7	13-14	基礎デザインからデザインへ	素材の様々な技法に触れ技法を習得する。
8	15-16	近代デザインの歩み/服飾デザインの歩み アール・ヌーヴォー/アール・デコ	芸術様式に注目し直線や幾何学的な線と曲線のデザインを習得する。
9	17-18	テキスタイル作成実習 (マーブリング、オパール加工、絞り加工、フリーレース)	様々な素材加工の技法に触れ、素材からデザインを提案する力を習熟する。
10	19-20	デザイナーの発想	アパレルデザイナーのアイデア発想やアプローチについて触れの各自のテーマを深める。
11	21-22	アイデア発想 ドシエ1 リサーチ (実在するものからのインスパイア)	各自のテーマ・コンセプトを明確にするための過去のデザイナー作品やテクニクなどを収集し理解を深める。
12	23-24	アイデア発想 ドシエ2 コンセプトワーク/イメージマップ	各自が収集した情報を基に内容を整理する。テーマとコンセプトを明確にしイメージマップ作成する。
13	25-26	アイデア発想 ドシエ3 テキスタイル表現	デザインを造形的に表現するための適切な素材選択および、オリジナルの素材表現に取り組む。
14	27-28	アイデア発想 ドシエ4 デザインアプローチおよび展開	テーマ・コンセプトを捉えたデザインを掘り下げ、トータルコーディネートで描き着彩し表現する力を習熟。
15	29-30	まとめ	半期のまとめを行う。

後期授業計画 (10月-3月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-4	商品企画とは・商品企画の流れ	アパレル企業における商品企画の考え方、商品企画の流れを知る。シーズンごとの商品構成に合わせて、色・素材出し、デザイン出しを行い、企画書にまとめる。
2	5-8	商品企画・ブランドリサーチ・分析1	既存国内アパレルメーカーブランドのリサーチ及び、ベンチマークを通して、ブランドコンセプト、ターゲット、グレード、商品構成を分析する。
3	9-12	商品企画・ブランドリサーチ・分析2	既存国内アパレルメーカーブランドのリサーチ及び、ベンチマークを通して、ブランドコンセプト、ターゲット、グレード、商品構成を分析する。
4	13-16	商品企画・シーズンMD立案1	ブランドコンセプト、ターゲット、グレードに合わせた、課題シーズンのMDを立案する。
5	17-20	商品企画・シーズンMD立案2	シーズンごとの商品構成に合わせて、色・素材出し、デザイン出しを行い、企画書にまとめる。
6	21-24	商品企画・シーズンテーマ、コーディネート立案1	シーズンテーマに合わせたコーディネートイメージを立案。生活行事・季節を含めた商品構成や素材・色展開を行う。
7	25-28	商品企画・シーズンテーマ、コーディネート立案2	シーズンテーマに合わせたコーディネートイメージを立案。生活行事・季節を含めた商品構成や素材・色展開を行う。
8	29-32	商品企画・デザインラインナップ1	デザインアイテムをテーマコンセプトに基づき展開するスキルを習熟する。
9	33-36	商品企画・デザインラインナップ2	デザインアイテムをテーマコンセプトに基づき展開するスキルを習熟する。
10	37-40	商品企画・トータルコーディネートデザイン1	デザインアイテムをトータルコーディネートで提案するスキルを習熟する。
11	41-44	商品企画・トータルコーディネートデザイン2	デザインアイテムをトータルコーディネートで提案するスキルを習熟する。
12	45-48	職業実践専門課程 デザイン提案	コンセプト・ターゲット・テーマに基づき、トレンド調査等を行い、リメイク商品を企画し、サンプル商品を制作する。
13	49-52	職業実践専門課程 商品企画1	コンセプト・ターゲット・テーマに基づき、トレンド調査等を行い、リメイク商品を企画し、サンプル商品を制作する。
14	53-56	職業実践専門課程 商品企画2	コンセプト・ターゲット・テーマに基づき、トレンド調査等を行い、リメイク商品を企画し、サンプル商品を制作する。
15	57-60	まとめ	半期のまとめを行う。
準備学習 (予習・復習)		演習に関しては、1時間の演習に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、20時間の授業をもって1単位とする。	
その他 (授業に際しての注意点)		アイデア帳を常に持ち歩き、五感を刺激する習慣を身に付ける。	

授業科目等の概要													
学科	服飾専門課程		ファッションデザイン科						1年				
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。												
分類	必修	○	選択		配当年次	1	年	学期	通年	○	前期	後期	
種別	総論						授業形態	講義	○	演習		実習	
授業科目	服飾造形論Ⅰ						単位	1単位					
担当教員	坂本 布美代・溝口 希弥子						職業実践専門課程：企業との連携						
※実務家教員	○	坂本：オーダーメイド、洋裁教室の主宰とリフォーム店勤務の経験を活かし、人の体型を理解したうえで、縫製しやすく合理的でスピーディーなファーストパターン、工業用パターンの作成と創造を実現させる縫製の指導を行う。											
資格検定												必修	選択
授業概要	衣服の起源から現代までファッションの歴史を学び、社会の変化とファッションの関係性の理解を深める。また、衣服制作において必要な用具の使用方法や縫製用具の基礎知識、素材の扱い方や付属材料、裁断縫製を身につけることを目標とする。デザイナーや企画職に必要な仕様書や工程表も書けるよう理解を深める。												
学習成果	①	縫製に関する機材や用具について、正しい使用方法の習得。					成績評価方法 (右記の評価を 基準に平均点で 算出)	1	定期試験結果	70	%		
	②	裁断縫製に関する基本的な知識の習得。						2	提出物/期限遵守	20	%		
	③	人体の計測の仕方の習得。						3	独創性/習熟度		%		
	※	衣服制作の基本となる知識・技術を習得。						4	意欲・授業態度	10	%		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化ファッション大系 服飾造形講座①</li> <li>●文化ファッション大系 服飾造形講座④</li> <li>●KFDオリジナル実習プリント配布</li> </ul>												

前期授業計画 (4月-9月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1	導入、古代、中世、近世 (18世紀ロココスタイル～)	服装史の発展、服の役割、変遷の概要を理解する。 該当箇所の教科書を読み、流れを理解しておくこと。
2	2	近世 (18-19世紀市民革命と産業革命) 第1～第2帝政時代 エンパイア、ロマンティック、クリノリン、バツル等	政治、経済、文化が密接につながっていることを実感させる。 該当箇所の教科書を読み、流れを理解しておくこと。
3	3	現代 (1910～1940年代)	1910-1940年今のファッションにつながる20世紀の流れを理解する。 該当箇所の教科書を読み、流れを理解しておくこと。
4	4	現代 (1950～1970年代)	1950-1970年今のファッションにつながる20世紀の流れを理解する。 該当箇所の教科書を読み、流れを理解しておくこと。
5	5	現代 (1980～21世紀) と、まとめテスト実施	1980-21世紀 ファッションの全体の流れを俯瞰して理解する。 該当箇所の教科書を読み、流れを理解しておくこと。
6	6	衣服制作のための用具と名称と使用方法 ミシン・アイロン・特殊ミシンの基礎知識	衣服制作に関する用具の基礎知識の習得。 事前に服飾造形の基礎P32～P43に目を通し確認しておくこと。
7	7	文化式原形の理解・書き方 平面作図の基礎	文化式原形の理解。原型の各部名称と書き方を通して各身体寸法を理解する。工業用パターン記号、定規の使い方を理解する。 服飾造形の基礎P74～P87に目を通し確認しておくこと。
8	8	裁断・縫製の基礎知識 針と糸の種類と用途	地づめ・地直し・表裏の見分け方・布幅、針と糸と布地の最適な関係について、基本的な知識を習得する。服飾造形の基礎PP38～P40、P130～P139に目を通し確認しておくこと。
9	9	副資材(ファスナー・ボタン・留め具)	ファスナーやボタンの用途にあった様々な種類を確認し、理解を深める。服飾造形の基礎P126～P129に目を通し確認しておくこと。
10	10	縫製工程表/縫製仕様書の書き方	まずは見本を模写することから始め、基本的な工程表と仕様書が書けるようにする。講義・資料を基に工程表、仕様書を作成する。
11			
12			
13			
14			
15			

後期授業計画 (10月-3月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1	衣服制作におけるウール地の扱いについて	ウール地の特徴、扱い方について理解を深める。 服飾造形の基礎P126~P129に目を通し確認しておくこと。
2	2	副資材についての知識(肩パット・伸び止めテープ)	ファスナーやボタンの用途にあった様々な種類を確認し、理解を深める。 服飾造形の基礎P132に目を通し確認しておくこと。
3	3	芯地・裏地の種類と用途 目的と役割	芯地・裏地についての役割や目的の理解を深める。 服飾造形の基礎P122~P125に目を通し確認しておくこと。
4	4	スカート縫製仕様書	スカートの縫製仕様書の作成を行い、企画職に必要な仕様書が書けるよう、理解を深める。事前に仕様を確認しておくこと。
5	5	スカート縫製工程表	スカートの縫製工程表の作成を行い、企画職に必要な工程表が書けるよう、理解を深める。事前に工程を復習しておくこと。
6	6	スカート裁断芯貼り加工指示書	スカートの裁断芯貼り加工指図書を作成し、理解を深める。芯貼り位置、芯の種類を確認しておくこと。
7	7	ジャケット縫製仕様書 1	ジャケットの縫製仕様書の作成を行い、企画職に必要な仕様書が書けるよう、理解を深める。事前に仕様を確認しておくこと。
8	8	ジャケット縫製仕様書 2	ジャケットの縫製仕様書の作成を行い、企画職に必要な仕様書が書けるよう、理解を深める。事前に仕様を確認しておくこと。
9	9	ジャケット縫製工程表 1	ジャケットの縫製工程表の作成を行い、企画職に必要な工程表が書けるよう、理解を深める。事前に工程を復習しておくこと。
10	10	ジャケット縫製工程表 2	ジャケットの縫製工程表の作成を行い、企画職に必要な工程表が書けるよう、理解を深める。事前に工程を復習しておくこと。
11	11	ジャケット裁断芯貼り加工指示書 1	ジャケットの裁断芯貼り加工指図書を作成し、理解を深める。芯貼り位置、芯の種類を確認しておくこと。
12	12	ジャケット裁断芯貼り加工指示書 2	ジャケットの裁断芯貼り加工指図書を作成し、理解を深める。芯貼り位置、芯の種類を確認しておくこと。
13	13	スーツ企画書まとめ 1	まとめ作業を行う。(反省、感想)
14	14	スーツ企画書まとめ 2	まとめ作業を行う。(ブラッシュアップ)
15	15	まとめ	1年間の資料ファイルのまとめを行う。
<b>準備学習 (予習・復習)</b>		講義に関しては、1時間の講義に対し、教室外における2時間程度の準備 または学習を必要とすることを考慮し、15時間の授業をもって1単位とする。	
<b>その他 (授業に際しての注意点)</b>		日頃より衣服制作における機材や用具について、正確な名称を確認することを推奨する。	

授業科目等の概要												
学科	服飾専門課程				ファッションデザイン科				2年			
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。											
分類	必修	○	選択	配当年次	2	年	学期	通年	前期	○	後期	
種別	パソコン						授業形態	講義		演習	○	実習
授業科目	アパレルCAD I						単位	1単位				
担当教員	白濱 由佳理						職業実践専門課程：企業との連携					
※実務家教員	○	アパレル企業で培ったCADパタンナーの実務を活かし、実務性の高いアパレルCAD操作方法を教授する。										
資格検定											必修	選択
授業概要	東レレリアコンポのソフトを使用したアパレルCADの基本操作の講義。主に原型操作・スカートのデザイン展開をしながら〈パターンマジックⅡ〉の操作方法を習得する。また、手引きパターンを元に、工場に送り出す前の作業工程を把握する。											
学習成果	<b>①</b> 東レレリアコンポのパターンマジックⅡの基本操作の理解。 <b>②</b> パターンを理解した操作方法を覚えていく。 <b>③</b> アパレルCAD特有の機材操作を習得。 ※ CADに慣れ基本操作を習得。						成績評価方法 (右記の評価を 基準に平均点で 算出)		1	定期試験結果		%
								2	提出物/期限遵守	40	%	
								3	独創性/習熟度	40	%	
								4	意欲・授業態度	20	%	
使用教材	●KFDオリジナルプリント配布											

前期 授業計画 (4月-9月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-2	アパレルCADについて・基本操作(1)	東レCAD(パターンマジックⅡ)の基本操作を学ぶ。
2	3-4	ダーツの移動1口	身頃原型のダーツ展開をしながらCADの操作方法、主に線作成を理解する。並びにパターン操作を理解する。
3	5-6	ダーツの移動2	身頃原型のダーツ展開をしながらCADの操作方法、線作成の理解を深め展開方法など新しいメニューの操作を学ぶ。プリントを見て前項の復習を行う。
4	7-8	ダーツの移動3	身頃原型のダーツ展開をしながらCADの操作方法、線の引き直し等新しいメニューの操作を学ぶ。プリントを見て前項の復習を行う。
5	9-10	ダーツの移動4	身頃原型のダーツ展開をしながらCADの操作方法、ダーツ展開1~3を理解した上で基本操作に慣れる。プリントを見て前項の復習を行う。
6	11-12	ダーツの移動5	ダーツ展開4までで習得した操作方法を復習しながら各自でダーツ展開の問題を解かせ、CADの操作方法、並びにパターン操作をより理解する。プリントを見て前項の復習を行う。
7	13-14	タイトSKからセミタイトSKへ展開	タイトSKの展開で操作方法をより深く学ぶ。パターンチェックの方法もここで初めて操作し覚える。プリントを見て前項の復習を行う。
8	15-16	セミタイトSKからプリーツSKへ展開1	切替があるデザインスカートを作成する。ヨークの展開方法や切り離し等新しいメニューも習得する。プリントを見て前項の復習を行う。
9	17-18	セミタイトSKからプリーツSKへ展開2	プリーツ作成の操作方法を学ぶ。プリントを見て前項の復習を行う。
10	19-20	確認テスト対策	これまで学んだ操作方法を反復学習し、よりCAD操作を身につける。プリントを見て前項の復習を行う。
11	21-22	確認テスト	テキストを見ずに確認テストを行うことで個人の理解度・苦手な部分を把握する。プリントを見て前項の復習を行う。
12	23-24	確認テスト復習・裏地パターンの作成	確認テストでの間違った部分を復習する。また裏地パターンの作成手順を学ぶ。プリントを見て前項の復習を行う。
13	25-26	工業用パターンの作成	縫い代がついた工業用パターンへの作成手順を学ぶ。プリントを見て前項の復習を行う。
14	27-28	縫い代付け練習・芯パターン作成方法	芯パターン作成の手順を学ぶ。縫い順序や縫製仕様に適した縫い代の付け方を理解し学ぶ。プリントを見て前項の復習を行う。
15	29-30	トレース・パターン確認と修正	CADスキャナで取り込んだ手書きのパターンをCADパターンにするためのトレースを学ぶ。またトレースしたパターンの修正・確認方法を学ぶ。プリントを見て前項の復習を行う。
準備学習(予習・復習)	演習に関しては、1時間の演習に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、20時間の授業をもって1単位とする。		
その他(授業に際しての注意点)			

## 授業科目等の概要

学 科	服飾専門課程	ファッションデザイン科	2年
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。		
分 類	必修	<input type="radio"/>	選択
種 別	パソコン		授業形態
授業科目	グラフィックⅡ		単 位
担当教員	中島 宏樹		職業実践専門課程：企業との連携
※実務家教員	<input type="radio"/> グラフィックデザイナーとして企画業務で培ってきたデザイン・企画の基礎知識と実践的なデザイン・スキルを教授する。		
資格検定			必修
授業概要	Adobe Photoshop（ラスター）を使い、テーマにあった効果的な画像処理（色調補正・画像切り抜き・フィルタ効果・描画モード等）や自分の思い描くイメージマップ制作などの演習を通じグラフィックデザインの応用を学ぶ。またAdobe Illustrator（ベクター）を理解し、グラフィックデザインの演習と実技を中心に授業を進める。アイテムの平面画・柄・DM・ポスターを描くための応用力を身に付ける。		
学習成果	① Adobe Photoshopの応用操作方法の習得。 ② Adobe Illustratorの応用操作方法の習得。 ③ 平面的なヴィジュアル表現（グラフィックデザイン）方法の習得。 ※ グラフィックデザインの習得。	成績評価方法 （右記の評価を基準に平均点で算出）	1 定期試験結果 2 提出物/期限遵守 60 % 3 独創性/習熟度 10 % 4 意欲・授業態度 30 %
使 用 材	●コレクション雑誌、ファッション雑誌 ●KFDオリジナルデータ配布		

通年

2026年 ファッションデザイン科2年シラバス

前期授業計画（4月-9月）			授業目的・準備学習（予習・復習）内容
1	1-4	1年次のまとめ復習	1年次で習得したスキルを駆使し、PhotoshopとIllustrator復習を行いデザインの理解を深める。1年次の復習を事前に行う事が望ましい。
2	5-8	仕様書制作の為のペンツールとパスファインダの復習 1	DTPの基礎的知識として用紙サイズ・種類とトンボ・マージンに関する知識を画像着彩を通じ習得し理解を深める。各自データ持参。
3	9-12	仕様書制作の為のペンツールとパスファインダの復習 2	1年次で習得したスキルを駆使し、Adobe Illustratorを用いパスでシルエット・袖・衿を描いてレイヤー及びオブジェクトの理解を深める。基本的な衣服の構造線への理解を深めておく。
4	13-16	仕様書制作のプリント用 版下データの作り方 埋め込みなど	Adobe Illustratorを用いパスで描いたパーツをそれぞれ組み合わせる。パーツを組み合わせたアイテムを基に、仕様・始末・指示の作図を行う。各自データ（手書きデザイン）を事前に制作し持参する。
5	17-20	パンツ仕様書・企画書作成（Adobe Photoshop運動）1	実践仕様のパンツ仕様書作成を通じIllustratorの応用技術を習得する。またPhotoshopで画像加工・画像切り抜きを行い仕様書を仕上げる。各自事前にデータ（手書きデザイン）準備しておく事。
6	21-24	パンツ仕様書・企画書作成（Adobe Photoshop運動）2	実践仕様のパンツ仕様書作成を通じIllustratorの応用技術を習得する。またPhotoshopで画像加工・画像切り抜きを行い仕様書を仕上げる。各自事前にデータ（手書きデザイン）準備しておく事。
7	25-28	オリジナルテキストスタイル制作【各自柄制作】	1.2年次で習得したスキルを駆使し、オリジナルテキストスタイル制作を通してAdobe PhotoshopとAdobe Illustratorでのデザインの理解を深める。各自データ（雑誌）持参。
8	29-32	オリジナルテキストスタイル制作【各自柄制作】	1.2年次で習得したスキルを駆使し、オリジナルテキストスタイル制作を通してAdobe PhotoshopとAdobe Illustratorでのデザインの理解を深める。各自データ（雑誌）持参。
9	33-36	企画書作成【職業実践専門課程運動】1	タイポグラフィを理解した上でのAdobe Illustratorで表作成・文字レイアウトを行い、前期で行ったAdobe Photoshopで画像加工・画像切り抜きを行い企画書を仕上げる。各自データ（手書きデザイン）持参。
10	37-40	企画書作成【職業実践専門課程運動】2	タイポグラフィを理解した上でのAdobe Illustratorで表作成・文字レイアウトを行い、前期で行ったAdobe Photoshopで画像加工・画像切り抜きを行い企画書を仕上げる。各自データ（手書きデザイン）持参。
11	41-44	コート仕様書作成（Photoshop運動）【各自仕様書作成】1	Adobe Photoshopで画像加工・画像切り抜きをし、Adobe Illustratorで表作成・文字レイアウトを行い仕様書を仕上げる。各自事前にデータ（手書きデザイン）準備しておく事。
12	45-48	コート仕様書作成（Photoshop運動）【各自仕様書作成】2	Adobe Photoshopで画像加工・画像切り抜きをし、Adobe Illustratorで表作成・文字レイアウトを行い仕様書を仕上げる。各自事前にデータ（手書きデザイン）準備しておく事。
13	49-52	コート仕様書作成（Photoshop運動）【各自仕様書作成】3	Adobe Photoshopで画像加工・画像切り抜きをし、Adobe Illustratorで表作成・文字レイアウトを行い仕様書を仕上げる。各自事前にデータ（手書きデザイン）準備しておく事。
14	53-56	大判ポスターデザインの制作【各自オリジナルデザイン制作】1	タイポグラフィを理解しこれまでに習得したスキルを駆使し、オリジナルポスターデザイン制作を通してのグラフィックデザインの理解を深める。各自データ（切り抜き）を準備、持参する事。
15	57-60	大判ポスターデザインの制作【各自オリジナルデザイン制作】2 半期のおさらい	半期のおさらいを行い、理解を深める。

後期授業計画 (10月-3月)		授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-4	大判ポスターデザインの制作【各自オリジナルデザイン制作】3 タイポグラフィを理解しこれまでに習得したスキルを駆使し、オリジナルポスターデザイン制作を通してのグラフィックデザインの理解を深める。各自データ(切り抜き)を準備、持参する事。
2	5-8	デザインの基礎【タグデザイン】 タグ制作を通してCIデザインの理解を深める。オリジナルデータ配布、各自事前にデザイン案を作り持参する事。
3	9-12	卒業記念展作品企画書制作【各自展示物作成】1 グループでのオリジナルブランドのビジュアルボードの作成。各自事前に考案したエスキス(手書きデザイン)持参。
4	13-16	卒業記念展作品企画書制作【各自展示物作成】2 グループでのオリジナルブランドのビジュアルボードの作成。各自事前に考案したエスキス(手書きデザイン)持参。
5	17-20	卒業記念展作品企画書制作【各自展示物作成】3 グループでのオリジナルブランドのビジュアルボードの作成。各自事前に考案したエスキス(手書きデザイン)持参。
6	21-24	ポートフォリオ制作・データまとめ1 授業で制作した企画書・仕様書をまとめ、ポートフォリオPDF制作を行う。制作物のまとめ、修正を行っておく。
7	25-28	ポートフォリオ制作・データまとめ2 授業で制作した企画書・仕様書をまとめ、ポートフォリオPDF制作を行う。制作物のまとめ、修正を行っておく。
8	29-30	まとめ 通年のまとめを行い、理解を深める。1-2年次通した復習を行う。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
準備学習 (予習・復習)	演習に関しては、1時間の演習に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、20時間の授業をもって1単位とする。	
その他 (授業に際しての注意点)	授業意欲として日頃からファッション雑誌やWebページ等を「グラフィック」という視点で「見る」事を推奨する。講義内容に対しても積極的に質問をし、自己で理解することが望ましい。授業毎に配布される課題は、提出期限を厳守すること。また、採点后、再提出の際、何を見落としていたのかを理解し、また積極的に質問し改善する事が望ましい。必要教材(持参するデータ)を忘れると受講困難になるので注意が必要である。	

授業科目等の概要												
学科	服飾専門課程			ファッションデザイン科					2年			
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。											
分類	必修	<input type="radio"/>	選択	<input type="checkbox"/>	配当年次	2	年	学期	通年	<input type="radio"/>	前期	後期
種別	服飾造形					授業形態	講義	<input type="checkbox"/>	演習	<input type="checkbox"/>	実習	<input type="radio"/>
授業科目	ソーイングⅡ					単位	8単位					
担当教員	今村 大祐・佐野 未来					職業実践専門課程：企業との連携						
※実務教員	<input type="radio"/>	今村：アパレル企業の営業企画での実務経験及び国家資格技能検定・婦人子供服製造技能士1級取得にて培ってきた、実務性の高い服飾造形に関する知識を教授する。 佐野：アパレルメーカーのパターン職として、商品企画、パターン・サンプル作成、生産管理等の職務経験を活かし、実践的な商品企画、パターンメイキング、縫製技術、素材の取り扱いを指導する。										
資格検定												
授業概要	デザインをイメージ通りに表現する為に、素材特性に応じた縫製仕様を考え、裁断、縫製、アイロン作業、最終仕上げまでを学ぶ。また、各種部分縫いを交えながらより良い作品としての技術を習得する。											
学習成果	①	企画職として服作りの基本構造を理解し実務能力を習得する。					成績評価方法 (右記の評価を 基準に平均点で 算出)	1	定期試験結果		%	
	②	アパレルの造形・縫製仕様の理解習熟。						2	提出物/期限遵守	80	%	
	③	デザインを造形的に作り上げる縫製技術の習熟。						3	独創性/習熟度	10	%	
	※	パターンメイキングⅡ・服飾造形論Ⅱと連動する。						4	意欲・授業態度	10	%	
使 用 材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化ファッション大系 服飾造形講座①②③④⑤</li> <li>●KFDオリジナル実習プリント配布</li> <li>●裁縫道具一式</li> </ul>											

前期 授業計画 (4月-9月)				授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-10	カットソー：裁断、縫製、まとめ		素材の特性を生かした基本的な縫合テクニックの習熟。
2	11-20	部分縫い：ポケット(斜め切替、シーム、無飾り)パンツ前開き		ポケット各種の構造理解と仕様の確認を行い、縫製テクニックの習熟。
3	21-30	パンツ：地直し、マーキング、裁断、準備工程		効率的な既製服仕立てのパンツの構造仕様を理解する。パターンメイキングⅡと連動し、トルルを利用した縫製の習熟。
4	31-40	一重パンツ前開きファスナー部分縫い		前開きファスナーパンツの構造理解と仕様の確認を行い、縫製の習熟。
5	41-50	パンツ：縫製1(左右ポケット、股下、左右裾)		効率的なパンツ縫製技術の習熟。事前に自身が所持する該当アイテム・ディテールの研究を行っておく。
6	51-60	パンツ：縫製2(股ぐり、前開き、ベルト付け)まとめ		効率的なパンツ縫製・まとめ技術の習熟。事前に自身が所持する該当アイテム・ディテールの研究を行っておく。
7	61-70	部分縫い：本比翼仕立て(厚地仕様) 箱ポケット		比翼仕立ての構造理解とコートの裾仕様の確認を行い、縫製の習得。
8	71-80	ラグランスリーブコート：地直し マーキング 裁断 芯貼り		ラグランスリーブコートの構造を理解し、素材や仕様に対応した裁断・準備工程を行う技術の習熟。事前に生地準備、特性の理解を行う。
9	81-90	ラグランスリーブコート：縫製 表(身頃、左右ポケット)		ラグランスリーブコートの各デザインの構造を理解し、素材や仕様に対応した縫製技術の習熟。事前に仕様書の確認を行う。
10	91-100	ラグランスリーブコート：縫製 表(袖付け、衿付け)		ラグランスリーブコートの各デザインの構造を理解し、素材や仕様に対応した縫製技術の習熟。事前に仕様書の確認を行う。
11	101-110	ラグランスリーブコート：縫製 裏(身頃、袖・衿付け)		ラグランスリーブコートの各デザインの構造を理解し、素材や仕様に対応した裏地の縫製技術の習熟。事前に仕様書の確認を行う。
12	111-120	ラグランスリーブコート：縫製 表裏合わせ 裾始末		ラグランスリーブコートの各デザインの構造を理解し、素材や仕様に対応した縫製技術の習熟。事前に仕様書の確認及びどんでん仕様の復習を行う。
13	121-130	ラグランスリーブコート まとめ、仕上げ		ラグランスリーブコートの各デザインの構造を理解し、素材や仕様に対応した裏地の縫製・まとめ技術の習熟。事前に仕様書の確認を行う。また完成後のチェックを行う。
14	131-140	文化祭売品制作1		有型からデザインを展開し、商品縫製のテクニックを習熟する。
15	141-150	文化祭売品制作2 まとめ		半期のおさらいを行う。

後期授業計画 (10月-3月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-12	トレンドワーク作品 マーキング 裁断1	グループで共有の素材は共同でマーキングを行い、収率の高い裁断を行う。事前に扱う素材の特性を予習しておく事。
2	13-24	トレンドワーク作品 裁断2	グループで共有の素材は共同でマーキングを行い、収率の高い裁断を行う。事前に扱う素材の特性を予習しておく事。
3	25-36	トレンドワーク作品 芯貼り	芯地の扱い、適切な接着設定の習熟。事前に取り扱う素材に試し貼りを行い、適切な芯を購入しておく事。
4	37-48	トレンドワーク作品：アウター縫製1	各自アウターの素材とデザインに対応した縫製工程分析を行い、効率的な縫製を理解し、テクニックを習熟。事前に扱う素材の生地特性を理解し、適切な設定を行う事。
5	49-60	トレンドワーク作品：アウター縫製2	各自アウターの素材とデザインに対応した縫製工程分析を行い、効率的な縫製を理解し、テクニックを習熟。事前に扱う素材の生地特性を理解し、適切な設定を行う事。
6	61-72	トレンドワーク作品：アウター縫製3	各自アウターの素材とデザインに対応した縫製工程分析を行い、効率的な縫製を理解し、テクニックを習熟。事前に扱う素材の生地特性を理解し、適切な設定を行う事。
7	73-84	トレンドワーク作品：アウター縫製4	各自アウターの素材とデザインに対応した縫製工程分析を行い、効率的な縫製を理解し、テクニックを習熟。事前に扱う素材の生地特性を理解し、適切な設定を行う事。
8	85-96	トレンドワーク作品：ボトムス縫製1	各自ボトムスの素材とデザインに対応した縫製工程分析を行い、効率的な縫製を理解し、テクニックを習熟。事前に扱う素材の生地特性を理解し、適切な設定を行う事。
9	97-108	トレンドワーク作品：ボトムス縫製2	各自ボトムスの素材とデザインに対応した縫製工程分析を行い、効率的な縫製を理解し、テクニックを習熟。事前に扱う素材の生地特性を理解し、適切な設定を行う事。
10	109-120	トレンドワーク作品：ボトムス縫製3	各自ボトムスの素材とデザインに対応した縫製工程分析を行い、効率的な縫製を理解し、テクニックを習熟。事前に扱う素材の生地特性を理解し、適切な設定を行う事。
11	121-132	トレンドワーク作品：トップス縫製1	各自トップスの素材とデザインに対応した縫製工程分析を行い、効率的な縫製を理解し、テクニックを習熟。事前に扱う素材の生地特性を理解し、適切な設定を行う事。
12	133-144	トレンドワーク作品：トップス縫製2	各自トップスの素材とデザインに対応した縫製工程分析を行い、効率的な縫製を理解し、テクニックを習熟。事前に扱う素材の生地特性を理解し、適切な設定を行う事。
13	145-156	トレンドワーク作品：アクセサリ小物1	各自のデザインに合った小物アクセサリの制作に取り組み、必要なテクニックの習熟。事前にアイテムの基本的な仕様のリサーチを行う事。参考とする既製品の現物を用意しておく事が望ましい。
14	157-168	トレンドワーク作品：アクセサリ小物2	各自のデザインに合った小物アクセサリの制作に取り組み、必要なテクニックの習熟。事前にアイテムの基本的な仕様のリサーチを行う事。参考とする既製品の現物を用意しておく事が望ましい。
15	169-180	トレンドワーク作品：まとめ・仕上げ	全体の見直しを行い理解を深める。
準備学習 (予習・復習)		ソーイングのような実習教室等における授業に関しては、教室外における1時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、30時間の授業をもって1単位とする。	
その他 (授業に際しての注意点)		服飾デザインⅡ、パターンメイキングⅡ、市場調査Ⅱ、服飾造形論Ⅱと連動し、それぞれとの因果を鑑み時間割は流動的に前後する場合がある。課題制作物においては有り型及びその展開からのパターンの使用を許可する。トレンドワーク作品は単品ではなくトップス、アウター、ボトムスを基本としたコーディネートで制作する。	

## 授業科目等の概要

学 科	服飾専門課程	ファッションデザイン科	2年																
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画が提案できる人材を育成する。																		
分 類	必修	○	選択																
種 別	デザイン		2 年																
授業科目	ドローイングⅡ		2単位																
担当教員	舞田 章子		職業実践専門課程：企業との連携 ○																
※実務家教員	○ 学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。																		
資格検定			必修																
授業概要	アパレルデザイナーとして必須になる平面画の習得および学生の感性を磨く為に、各種コンテストへの応募・入選を目標とする。イメージしたデザインを視覚的に表現し、1年次に学んだ基本的なテクニックを踏まえて様々な画材での着彩方法を学ぶ。																		
学習成果	① デザイナーとして実務に必要なスキルの習得。 ② 平面画のスキルを習得する。 ③ オリジナルデザイン画の表現力を習得する。 ※ バランスを身につけ、各自の線の習得を目指す。	成績評価方法 (右記の評価を 基準に平均点で 算出)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 45%;">定期試験結果</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 40%;">%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>提出物/期限遵守</td> <td>50</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>独創性/習熟度</td> <td>30</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>意欲・授業態度</td> <td>20</td> <td>%</td> </tr> </table>	1	定期試験結果		%	2	提出物/期限遵守	50	%	3	独創性/習熟度	30	%	4	意欲・授業態度	20	%
1	定期試験結果		%																
2	提出物/期限遵守	50	%																
3	独創性/習熟度	30	%																
4	意欲・授業態度	20	%																
使 用 材	●コレクション雑誌 ●各自参考書籍 ●KFDオリジナル実習プリント配布 ●ドローイングセット																		

前 期 授 業 計 画 (4月-9月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-2	YKKファスニングアワード下書き	ファスナーの構造と特徴を活かしたオリジナルデザインの家を準備し、適切な表現について学ぶ。事前にコンテスト骨子への理解を深め、企画概要を決定しておく。
2	3-4	YKKファスニングアワード着彩	コンセプトに合ったオリジナルデザインのドローイング能力および構成力のスキルを習得する。事前にコンテスト骨子への理解を深め、企画概要を決定しておく。
3	5-6	YKKファスニングアワード仕上げ	オリジナルデザインのドローイング能力および構成力のスキルを習得する。事前にコンテスト骨子への理解を深め、企画概要を決定しておく。
4	7-8	コート 平面画と仕様の描き方	コートのシルエットと素材表現を学び、デザイナーとして職出しする際に必要な平面画と仕様の描き方についてスキルを習得する。事前に該当課題制作物のデザインを決定しておく。
5	9-10	ワンピース 平面画と仕様の描き方	ワンピースのシルエットと素材表現を学び、デザイナーとして職出しする際に必要な平面画と仕様の描き方についてスキルを習得する。事前にワンピースアイテムの資料収集を行っておく。
6	11-12	ボトムス 平面画と仕様の描き方	ボトムスのシルエットと素材表現を学び、デザイナーとして職出しする際に必要な平面画と仕様の描き方についてスキルを習得する。事前に該当課題制作物のデザインを決定しておく。
7	13-14	ブラウス 平面画と仕様の描き方	ブラウスのシルエットと素材表現を学び、デザイナーとして職出しする際に必要な平面画と仕様の描き方についてスキルを習得する。事前にブラウスアイテムの資料収集を行っておく。
8	15-16	シャツ 平面画と仕様の描き方	シャツのシルエットと素材表現を学び、デザイナーとして職出しする際に必要な平面画と仕様の描き方についてスキルを習得する。事前にシャツアイテムの資料収集を行っておく。
9	17-18	ジャケット 平面画と仕様の描き方	ジャケットのシルエットと素材表現を学び、デザイナーとして職出しする際に必要な平面画と仕様の描き方についてスキルを習得する。事前にジャケットアイテムの資料収集を行っておく。
10	19-20	卒業記念展の制作作品 デザイン案 (A4サイズ)	テーマ・コンセプトに基づいたデザイン画の構成案を準備し、適切な表現について学ぶ。事前にグループワークで決定した条件の整理を行っておく。
11	21-22	全国ファッション画コンクール下書き	テーマに基づいたデザイン画の構成とドローイングで表現するスキルを習得。事前に過去受賞作をリサーチし、デザインの検討を行っておく。
12	23-24	全国ファッション画コンクール着彩	テーマに基づいたデザイン画の構成と着彩技法を学び世界観を表現するスキルを習得。事前に過去受賞作をリサーチし、色材、着色技法の検討を行っておく。
13	25-26	全国ファッション画コンクール仕上げ	テーマに基づいたデザイン画の構成とドローイングで表現するスキルを習得。事前に過去受賞作をリサーチし、背景、レイアウトの検討をおこなう。
14	27-28	実物制作コート作品のデザイン画 下描き・着彩	テーマ・コンセプトに基づき制作した実物制作コートをデザイン画と平面画で表現し、スキルを習得する。事前に制作したコートの正確な仕様書を用意しておく。
15	29-30	半期のまとめ	半期のおさらいを行う。

通年

2026年 ファッションデザイン科2年シラバス

後期授業計画 (10月-3月)			授業目的・準備学習 (予習・復習) 内容
1	1-2	全国服飾学校ファッション画コンクール下書き	テーマに基づいたデザイン画の構成案を準備し、適切な表現について学ぶ。事前に過去受賞作をリサーチし、デザインの検討を行うしておく。
2	3-4	全国服飾学校ファッション画コンクール着彩	テーマに基づいたデザイン画の構成と着彩技法を学び世界観を表現するスキルを習得。事前に過去受賞作をリサーチし、色材、着彩技法の検討を行うしておく。
3	5-6	全国服飾学校ファッション画コンクール仕上げ	テーマに基づいたデザイン画の構成とドローイングで表現するスキルを習熟。事前に制作したコートの正確な仕様書を用意しておく。
4	7-8	職業実践専門課程 オリジナルデザイン画と平面画1	課題に沿った提案アイテム (平面画) のバランスを取り、素材の風合いを損なわない描き方のスキルを習熟。事前に取り組みへの理解を深め、適切なテンプレートの準備を行うしておく。
5	9-10	職業実践専門課程 オリジナルデザイン画と平面画2	提案アイテムのディテールを改善し、素材の風合いを損なわない描き方と平面画で伝えるスキルの習熟。事前に取り組みへの理解を深め、適切なテンプレートの準備を行うしておく。
6	11-12	職業実践専門課程 オリジナルデザイン画と平面画3	提案アイテムのコーディネートデザイン画のバランスを取り、素材の風合いを損なわない描き方のスキルを習熟。事前に取り組みへの理解を深め、適切なテンプレートの準備を行うしておく。
7	13-14	職業実践専門課程 オリジナルデザイン画と平面画4	提案アイテムのコーディネートデザイン画と平面画の構成を考えた描き方と伝えるスキルの習熟。事前に取り組みへの理解を深め、適切なテンプレートの準備を行うしておく。
8	15-16	卒業記念展の制作作品下書き (B4サイズ)	テーマ・コンセプトに基づいたデザイン画の構成案を準備し、適切な表現について学ぶ。事前に仕様書等、正確な構造線がわかる資料を準備しておく事。
9	17-18	卒業記念展の制作作品平面画	各種素材や風合いを損なわない描き方とデザインが絵型で伝えるスキルの習熟。事前に仕様書等、正確な構造線がわかる資料を準備しておく事。
10	19-20	卒業記念展の制作作品平面画および全体構成	各種素材や風合いを損なわない描き方と背景まで含めたデザイン構成を絵型で表現できるスキルの習熟。事前に仕様書等、正確な構造線がわかる資料を準備しておく事。
11	21-22	卒業記念展の制作作品着彩1	テーマ・コンセプトに基づいたデザイン画の構成と着彩方法を学び世界観を表現するスキルを習熟。事前に生地サンプル等、正確な風合いがわかる資料を準備しておく事。
12	23-24	卒業記念展の制作作品着彩2	テーマ・コンセプトに基づいたデザイン画の構成と着彩方法を学び世界観を表現するスキルを習熟。事前に生地サンプル等、正確な風合いがわかる資料を準備しておく事。
13	25-26	卒業記念展の制作作品着彩3 全体構成	テーマ・コンセプトに基づいたデザイン画の構成とドローイングで表現するスキルを習熟。事前に生地サンプル等、正確な風合いがわかる資料を準備しておく事。
14	27-28	卒業記念展の制作作品仕上げ	デザイン画の構成を考え、まとめる力を身に付ける。事前にグループでディスカッションし、適切な構成の指針を決めておく事。
15	29-30	まとめ	半期のまとめを行う。
準備学習 (予習・復習)		演習に関しては、1時間の演習に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、20時間の授業をもって1単位とする。	
その他 (授業に際しての注意点)		アパレル企画職に必要な、実務的な平面画と仕様の描き方を強化する。各種コンテストに参加し、感性、表現力の向上を計る。	

# 授業科目等の概要

学 科	服飾専門課程	ファッションデザイン科	2年
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。		
分 類	必修	<input type="radio"/>	選択
種 別	服飾造形		配当年次
授業科目	パターンメイキングⅡ		2 年
担当教員	今村 大祐・佐野 未来		学 期
※実務教員	○		通 年
資格検定	一般財団法人 日本ファッション教育振興協会：パターンメイキング技術検定試験2級		<input type="radio"/>
授業概要	人体の構造、体型を理解して服種別・シルエット各種のパターンメイキングを習得する。また、素材に応じてゆりみや厚み分量を考慮したパターン展開法を身に付け、生産に向けた量産パターン（縫い代付、合印、グレーディング）の知識・技術を習得する。		
学習成果	① 企画職に必要な基本的な技術を習得する。 ② 素材・縫製・仕様を考慮した作図を習得する。 ③ デザイン画に合った作図スキルの習得。 ※ ソーイングⅡ・服飾造形論Ⅱと連動する。	成績評価方法 (右記の評価を基準に平均点で算出)	1 定期試験結果 70 % 2 提出物/期限遵守 10 % 3 独創性/習熟度 10 % 4 意欲・授業態度 10 %
使 用 材	●文化ファッション大系 服飾造形講座①②③④⑤ ●作図道具一式 ●一般財団法人 日本ファッション教育振興協会：パターンメイキング技術検定試験2級ガイドブック ●一般財団法人 日本ファッション教育振興協会：パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック		

前 期 授 業 計 画 (4月-9月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-13	カットソー：1/4作図、パターンチェックとノッチの重要性について	カットソーアイテムの基本からデザインパターンまで理解する。パターンメイキングにおける基本的な技術の再確認を行う。事前・事後に自身が持つ該当アイテムを研究する。
2	14-26	パンツ：縮尺作図(1st~工業用、ポケット、前開き)	基本的なストレートパンツの製図を理解する。事前・事後に自身が持つ該当アイテムを研究する。
3	27-39	パンツ：実寸作図(1st~工業用もしくは有り型の展開パターンメイキング技術検定2級筆記試験対策)	基本的なストレートパンツのからの展開方法を理解する。パターンメイキング技術検定試験2級実技試験相当の知識習熟。事前にパターンメイキング技術検定試験2級ガイドブックに目を通しておく。
4	40-52	ラグランスリーブコート：縮尺作図(1st~工業用)	基本的なラグランスリーブコートの作図を理解し習熟する。事前・事後に自身が持つ該当アイテムを研究する。
5	53-65	ラグランスリーブコート：縮尺作図(箱ポケット、無飾リアウトポケット、本比翼仕立て前端)	ラグランスリーブコートでよくみられるディテールの作図を理解し習熟する。事前・事後に自身が持つ該当ディテールを研究する。
6	66-78	ラグランスリーブコート：実寸作図(1st~型出しもしくは有り型の展開)パターンメイキング技術検定2級筆記試験対策	制作するコートのデザイン、仕様を理解し作図する能力を習熟する。事前に前項迄の復習及び型出しの基本技術の復習を行っておく。
7	79-91	ラグランスリーブコート：実寸作図(型出し修正)パターンメイキング技術検定2級筆記試験対策	制作するコートの仕様を理解し作図する能力を習熟する。型出しを行い平前から立体へおこす作業における想像力を習熟する。事前に型出し修正の基本技術の復習を行っておく。
8	92-104	ラグランスリーブコート：実寸作図(表地工業用)パターンメイキング技術検定2級筆記試験対策	コートのシルエットやディテールに注目し、素材に対応したラグランスリーブコートを理解し習熟する。事前に工業化における基本的注意事項の復習を行っておく。
9	105-117	ラグランスリーブコート：実寸作図(裏地、芯地工業用)パターンメイキング技術検定2級筆記試験対策	各デザイン画に沿った型出しに取り組み、修正とパターン修正への技術を習熟する。事前に裏地展開など工業化における基本的注意事項の復習を行っておく。
10	118-130	展開によるデザインパターンメイキング：パンツ	有り型からの展開によるパターンメイキングの習熟。事前に前項におけるパンツの基本パターンの復習を行っておく。
11	131-143	展開によるデザインパターンメイキング：コート	有り型からの展開によるパターンメイキングの習熟。コートの基事前に前項におけるコートの基本パターンの復習を行っておく。
12	144-156	ドレーピング	基礎的なドレーピングを行い、衣服におけるパーツの形状や生地性質を理解する。事前に地直し等、シーチングの扱いにおける基本技術の復習を行っておく。
13	157-169	パターンメイキング技術検定2級 実技試験対策1	デザインジャケットの実技対策として、トライアル形式で実施し技術を習熟する。事前に3級で得た検定における基本技術の復習を行っておく。
14	170-182	パターンメイキング技術検定2級 実技試験対策2	有型のパンツパターンを基にデザインした実物作図に取り組み技術を習熟する。事前に前項で得た反省を行っておく。
15	183-195	前期試験対策 まとめ	半期のまとめを行い、パターンメイキングの基本技術への理解を深め、定着させる。

通 年

2026年 ファッションデザイン科2年シラバス

後期授業計画 (10月-3月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-10	トレンドワーク作品：アウター実寸作図	全体と部分を意識して、アウターにおけるデザイン画と素材に対する適切なサイズ感、ディテールについて考察し、作図を行う。事前に決定したデザインへの吟味、ディテールへの理解を行っておく。
2	11-20	トレンドワーク作品：アウター型出し	全体と部分を意識して、アウターにおけるデザイン画と素材に対する適切なサイズ感、ディテールについて考察し、型出しを行う。事前に平面作図時に気づいた仕様の問題点についての解決策の模索を行っておく。
3	21-30	トレンドワーク作品：アウター型出し修正	全体と部分を意識して、アウターにおけるデザイン画と素材に対する適切なサイズ感、ディテールについて考察し、修正を行う。事前に型出し時に出た問題点の洗い出しを行っておく。
4	31-40	トレンドワーク作品：ボトムス実寸作図	全体と部分を意識して、ボトムスにおけるデザイン画と素材に対する適切なサイズ感、ディテールについて考察し、作図を行う。事前に決定したデザインへの吟味、ディテールへの理解を行っておく。
5	41-50	トレンドワーク作品：ボトムス型出し	全体と部分を意識して、ボトムスにおけるデザイン画と素材に対する適切なサイズ感、ディテールについて考察し、型出しを行う。事前に平面作図時に気づいた仕様の問題点についての解決策の模索を行っておく。
6	51-60	トレンドワーク作品：ボトムス型出し修正	全体と部分を意識して、ボトムスにおけるデザイン画と素材に対する適切なサイズ感、ディテールについて考察し、修正を行う。事前に型出し時に出た問題点の洗い出しを行っておく。
7	61-70	トレンドワーク作品：トップス実寸作図	全体と部分を意識して、トップスにおけるデザイン画と素材に対する適切なサイズ感、ディテールについて考察し、作図を行う。事前に決定したデザインへの吟味、ディテールへの理解を行っておく。
8	71-80	トレンドワーク作品：トップス型出し	全体と部分を意識して、トップスにおけるデザイン画と素材に対する適切なサイズ感、ディテールについて考察し、型出しを行う。事前に平面作図時に気づいた仕様の問題点についての解決策の模索を行っておく。
9	81-90	トレンドワーク作品：トップス型出し修正	全体と部分を意識して、トップスにおけるデザイン画と素材に対する適切なサイズ感、ディテールについて考察し、修正を行う。事前に型出し時に出た問題点の洗い出しを行っておく。
10	91-100	トレンドワーク作品：コーディネートでのバランス修正、小物検討1	型出しをコーディネートで着用し、バランスを吟味したうえで修正を行う。また、ヘッドアクセ等追加のアイテムの検討を行い、コーディネートでの提案力を習熟する。事前に前項型出しの準備をしておく。
11	101-110	トレンドワーク作品：コーディネートでのバランス修正、小物検討2	型出しをコーディネートで着用し、バランスを吟味したうえで修正を行う。また、ヘッドアクセ等追加のアイテムの検討を行い、コーディネートでの提案力を習熟する。事前に前項型出しの準備をしておく。
12	111-120	トレンドワーク作品：表地工業用パターン実寸作図	縫製仕様を考慮した工業用パターン作成を行い、正確な製図能力と適切な仕様で構成する技術の習熟。前項までで習得した表地工業化における注意点の復習を行っておく。
13	121-130	トレンドワーク作品：裏地、芯地工業用パターン実寸作図	縫製仕様を考慮した工業用パターン作成を行い、正確な製図能力と適切な仕様で構成する技術の習熟。前項までで習得した裏地、芯地工業化における注意点の復習を行っておく。
14	131-140	トレンドワーク作品：追加アイテムパターン作成、後期試験対策	資料等を参照したパターンメイキングにおける問題解決能力の習熟。未制作のアイテムにおいては、参照する資料を準備、研究しておく。可能であれば既製品実物を用意しておくことが望ましい。
15	141-150	後期試験対策、半期のまとめ	全体の見直しを行い理解を深める。
準備学習 (予習・復習)	演習に関しては、1時間の演習に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、20時間の授業をもって1単位とする。		
その他 (授業に際しての注意点)	トレンドワーク作品は、グループワークで取り組み各自1コーディネート制作する。服飾デザインⅡ、ソーイングⅡ、市場調査Ⅱ、服飾造形論Ⅱと連動し、それぞれとの因果を鑑み時間割は流動的に前後する場合がある。課題制作物においては有り型及びその展開からのパターンの使用を許可する。トレンドワーク作品は単品ではなくトップス、アウター、ボトムスを基本としたコーディネートで制作する。		

授業科目等の概要												
学科	服飾専門課程		ファッションデザイン科					2年				
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。											
分類	必修	<input type="radio"/>	選択	<input type="checkbox"/>	配当年次	2	年	学期	通年	<input type="radio"/>	前期	後期
種別	流通・販売					授業形態	講義	<input type="checkbox"/>	演習	<input type="radio"/>	実習	<input type="checkbox"/>
授業科目	市場調査Ⅱ					単位	1単位					
担当教員	今村 大祐・一明 豪					職業実践専門課程：企業との連携					<input type="radio"/>	
※実務家教員	<input type="radio"/>	今村：アパレル企業の営業企画での実務経験及び国家資格技能検定・婦人子供服製造技能士1級取得にて培ってきた、実務性の高い服飾造形に関する知識を教授する。 一明：アパレル衣料、雑貨の企画製作、舞台衣装製作、フライダル小物・雑貨のオーダーメイド、テレビ番組スタイリスト等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。										
資格検定												
授業概要	ファッション産業や小売業などのビジネスの基礎を理解し、直接現場を見て学び、顧客ニーズを的確につかみ製品企画や作品制作に反映させることを目的とする。本や雑誌だけでは得ることができない情報を市場から収集し、まとめる事で時代の空気を読み取る力を伸ばす。常に「まち・みせ・ひと」から情報を得る事の重要性を認識させる。また、プレゼンテーションを行う事で自分の意見を提案する力を身につける。											
学習成果	①	ファッション業界の市場や商品を観察し理解を深める。					成績評価方法 (右記の評価を 基準に平均点で 算出)	1	定期試験結果		%	
	②	消費者の動向を調査・分析しターゲット理解を深める。						2	提出物/期限遵守	80	%	
	③	製品企画・開発に活かす。						3	独創性/習熟度	10	%	
	※	売れ筋を調査しトレンドの把握と絵型のスキルを習得する。						4	意欲・授業態度	10	%	
使 用 材	●文化学園 文化事業局 テキスタイルハンドブック ●ファッションディクショナリー ●KFDオリジナル実習プリント配布 ●流行色 ●WWD ●織研新聞											

前期 授業計画 (4月-9月)				授業目的・準備学習(予習・復習)内容			
1	1	リサーチ方法について、ファッション雑誌活用方法、平面画について		デザイナーとしてリサーチのポイントと活用方法について学び、商品デザインに落とし込むスキルの習熟。			
2	2	生地の知識、プリント方法について変化するデザインやアイデア収集		生地の知識とプリント生地について把握し、収集した情報を絵型にまとめデザインへと応用するスキルの習熟。			
3	3	トレンド調査1		アパレル市場のトレンドに目を向け、志向近いテイストのトレンド調査を行う事で、作品に対する市場性を高める。事前にどのテイストを調査するかはグループワークで決定しておく。			
4	4	トレンド調査2		アパレル市場のトレンドに目を向け、志向近いテイストのトレンド調査を行う事で、作品に対する市場性を高める。事前にどのテイストを調査するかはグループワークで決定しておく。			
5	5	ラグランスリーブコート：アイテムデザイン調査		各自のコートを制作するにあたり、店舗調査で色、素材(品質表示含む)、デザイン、縫製仕様、サイズ感、価格を見て市場を把握し、収集した情報を絵型にまとめデザインへと応用するスキルの習熟。			
6	6	トレンドワーク作品：競合ブランド調査1		店舗調査、デザインに必要な情報収集を行い、絵型にまとめデザインへと応用するスキルの習熟。事前に競合ブランドをカテゴリライズし調査にいく。			
7	7	トレンドワーク作品：競合ブランド調査2		店舗調査、デザインに必要な情報収集を行い、絵型にまとめデザインへと応用するスキルの習熟。事前に競合ブランドをカテゴリライズし調査にいく。			
8	8	トレンドワーク作品：参考コーディネート調査		仮想ブランドで成り立つコーディネートの検索を行い、アイテム単品ではなく全体で成り立たせるコーディネート力とバランス力を鍛える。事前にある程度のアイテムは想定しておく。			
9	9	職業実践専門課程：企業リサーチ		企業を知り、ブランドのコンセプトを把握し、製品開発にむけた調査分析を行いターゲット理解を深める。			
10	10	職業実践専門課程：商品リサーチ		ブランドの商品調査やターゲットの嗜好を把握し、製品デザインへの理解を深める。			
11	11	文化祭売品作品：企画調査		文化祭で制作する作品のデザインアイデアを収集する。収集した情報を基に、市場絵型にまとめデザインへと応用するスキルの習熟する。			
12	12	文化祭売品作品：デザイン調査		文化祭で制作する作品店舗調査で色、デザイン、縫製仕様、サイズ感、価格を見て市場を把握し、収集した情報を絵型にまとめデザインへと応用するスキルの習熟する。			
13	13	トレンドワーク作品：デザイン調査1		ブランドコンセプトを把握し製品開発にむけたデザインと縫製仕様の情報を収集し、絵型にまとめ自分のデザインに応用するスキルの習熟する。			
14	14	トレンドワーク作品：デザイン調査2		ブランドコンセプトを把握し製品開発にむけたデザインと縫製仕様の情報を収集し、絵型にまとめ自分のデザインに応用するスキルの習熟する。			
15	15	半期のまとめ		リサーチのまとめを行う。			

後期授業計画 (10月-3月)			授業目的・準備学習 (予習・復習) 内容
1	1	職業実践専門課程：デザイン調査1	ブランドコンセプトを把握し製品開発にむけたデザインと縫製仕様の情報を収集し、絵型にまとめ自分のデザインに応用するスキルを習熟する。企業、商品リサーチの考察を復習しておく。
2	2	職業実践専門課程：デザイン調査2	ブランドコンセプトを把握し製品開発にむけたデザインと縫製仕様の情報を収集し、絵型にまとめ自分のデザインに応用するスキルを習熟する。企業、商品リサーチの考察を復習しておく。
3	3	トレンドワーク作品：ターゲット情報	服が形になるための一番大事な工程であるリサーチを、「作りたいもの」ではなく「売れるもの」を作る視点で情報収集し理解を深める。事前に調査するポイントや資料の検討を行っておく。
4	4	デザイン調査：ベネフィット	ターゲットの悩みが解決されて得られる未来について調査し理解を深める。事前に調査するポイントや資料の検討を行っておく。
5	5	デザイン調査：実店舗リサーチ	リアルな情報に触れられる場として、複数の店舗の情報を収集し理解を深める。事前に調査するポイントや資料の検討を行っておく。
6	6	デザイン調査：ファッション雑誌	商品デザインの一般公開が一番早いファッション雑誌について学び、理解を深める。事前に調査するポイントや資料の検討を行っておく。
7	7	デザイン調査：通販サイト	より多くの情報が集まる、複数の通販サイトの情報を収集し理解を深める。事前に調査するポイントや資料の検討を行っておく。
8	8	デザイン調査：SNS	より多くの情報が集まる、複数のSNSの情報を収集し理解を深める。事前に調査するポイントや資料の検討を行っておく。
9	9	デザイン調査：ブランドのリアルターゲット情報	ターゲットのリアルなニーズを確認し、理解を深める。事前に調査するポイントや資料の検討を行っておく。
10	10	デザイン調査：マーケットリサーチ	ターゲットブランドの参考になりそうな店舗からハイブランドまで調査しデザイン収集を行う。事前に調査するポイントや資料の検討を行っておく。
11	11	デザイン調査：コーディネートイメージ	様々な情報を基に、コーディネートイメージをまとめるターゲットへの理解を深める。事前に調査するポイントや資料の検討を行っておく。
12	12	デザイン調査：デザインディテールイメージ	売れる商品につながるアイデアを具体的なアイテムとディテールごとに収集する。事前に調査するポイントや資料の検討を行っておく。
13	13	デザイン調査：デザイン展開	調査を基にターゲットが求めるデザインを展開し、提案できる内容にまとめる事が望ましい。事前に調査するポイントや資料の検討を行っておく。
14	14	デザイン調査まとめ	全体の見直しを行いまとめる。
15	15	市場調査まとめ	半期のまとめを行い、年間を通して確認する。
準備学習 (予習・復習)		演習に関しては、1時間の演習に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、20時間の授業をもって1単位とする。	
その他 (授業に際しての注意点)		服飾デザインⅡ、パターンメイキングⅡ、ソーイングⅡ、服飾造形論Ⅱと連動し、それぞれとの因果を鑑み時間割は流動的に前後する場合がある。	

授業科目等の概要												
学科	服飾専門課程			ファッションデザイン科				2年				
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。											
分類	必修	<input type="radio"/>	選択	<input type="checkbox"/>	配当年次	2	年	学期	通年	<input type="radio"/>	前期	後期
種別	デザイン				授業形態	講義	<input type="checkbox"/>	演習	<input type="radio"/>	実習	<input type="checkbox"/>	
授業科目	服飾デザインⅡ				単位	8単位						
担当教員	今村 大祐・一明 豪				職業実践専門課程：企業との連携				<input type="radio"/>			
※実務家教員	<input type="radio"/>	今村：アパレル企業の営業企画での実務経験及び国家資格技能検定・婦人子供服製造技能士1級取得にて培ってきた、実務性の高い服飾造形に関する知識を教授する。 一明：アパレル衣料、雑貨の企画製作、舞台衣装製作、フライダル小物・雑貨のオーダーメイド、テレビ番組スタイリスト等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。										
資格検定												
授業概要	市場調査を元にデザイン展開を行い、ターゲットに向けたデザイン提案力を習得する。ファッションの原点である生地の企画力・デザイン力を身につけ、グラフィックⅡやソーイングⅡ、パターンメイキングⅡの授業と連動してまとめていく。さらに、卒業記念展作品の制作に向け、オリジナリティに富むデザイン発想を行い造形的に表現する力を身につける。卒業記念展においてグループでコミュニケーションを図り、自主的に活動できるよう訓練する。											
学習成果	①	感性と悟性を鍛え、伝えるスキルを習得する。				成績評価方法 (右記の評価を 基準に平均点で 算出)	1	定期試験結果			%	
	②	五感を刺激しデザインに反映するスキルを習得する。					2	提出物/期限遵守		60	%	
	③	デザイン発想を習慣化するスキルを習得する。					3	独創性/習熟度		30	%	
	※	デザインを造形的に表現する力を身につける。					4	意欲・授業態度		10	%	
使 用 材	●文化ファッション大系 服飾専門講座④ ●KFDオリジナルプリント配布 ●WWD ●コレクション雑誌 ●市場調査データ											

前期 授業計画 (4月-9月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容	
1	1-7	トレンドワーク：トレンド分析	コンセプトを表現するための強い訴求が出来る資料をまとめデザインへと落とし込んでいくスキルを習熟する。事前にトレンド雑誌等の選別を行うしておく。	
2	8-14	トレンドワーク：テーマ・コンセプト設定	感性的に近いグループを組み、年間を通じた制作の方向性を計画する事で企画の立案能力の習熟を行う。事前に自身の志向性を理解し、その感性に対する理解を深めておく。	
3	15-21	ラグランスリーブコート企画：コンセプト設定、テキスタイル選定(副資材)、デザインワーク	コンセプトと整合がとれたテキスタイルおよび副資材の選定を行い、デザインおよび仕様の見直し確認を行う。実務的企画力の習熟を図る。事前に該当するアパレル素材への復習を行う。	
4	22-28	ラグランスリーブコート企画：デザインラインナップ最終検討後、実物制作を行うデザインを決定	デザインについて多くの意見や考えに触れ、ブラッシュアップし理解を深める。予習として自身の企画をまとめ、復習としてブラッシュアップを行う。	
5	29-35	オリジナルテキスタイルデザイン：情報収集、コンセプト作成	捺染プリントや様々なテキスタイル表現を理解する。コート企画にそった情報収集を行い、各自のアイデアをまとめるスキルを習熟する。基礎的な情報収集は事前に各自で行う。	
6	36-42	オリジナルテキスタイルデザイン：実物デザイン案作成、プレゼンテーション、修正後デジタルプリント出力	コンセプトに基づき、実物大で絵型を作成し、細部まで追求したブランドの世界観を1つにまとめるスキルを習熟する。出力に出す企業のリサーチは事前に行う。	
7	43-49	トレンドワーク：ターゲット設定、テキスタイル研究	コンセプトを探索し、デザインを形にする素材選定やオリジナル素材を制作するための様々な技法に触れ、素材理解を深める。計画にある技法については事前にリサーチを行う。	
8	50-56	トレンドワーク：デザインワーク、デザインラインナップ	コンセプトに沿った、オリジナルデザインを数多く展開できる技術を習熟する。コンセプトと整合性のあるディテールについて、過去のリサーチからのまとめを行っておく。	
9	57-63	トレンドワークス：ドシエ、ポートフォリオ中間プレゼンテーション	プレゼンテーションで伝えるスキルを習得し、多くの意見や考えに触れブラッシュアップする。作品制作を追求するスキルを習熟する。プレゼンテーション内容は事前にひな形を用意しておく。	
10	64-70	職業実践専門課程：企業ブランドイメージ分析、ターゲット分析、情報収集	既存のブランドの情報収集を行い、ターゲットマインドの理解を深める。デザイン以外のおおまかな企業情報の調査を事前に行う。	
11	71-77	職業実践専門課程：デザインワーク1	既存のブランドの情報収集を行い、ターゲットマインドの理解を深める。前項で得た情報のまとめ、復習を行っておく事。	
12	78-84	トレンドワーク：デザインワーク1	ターゲットイメージに合ったデザイン提案を行い、製品企画としてのスキルを習熟する。過去市場調査より、参考になるアイテムデザインをまとめておく事。	
13	85-91	トレンドワーク：デザインワーク2	デザイン提案を行い、製品企画としてのスキルを習熟する。各デザインの整合性の裏付けとなる資料の準備を行っておく事。	
14	92-98	文化祭売品企画	制限された販売形態、縫製技術のもと、過去来場者からターゲットの分析を行い売れる商品の企画を行う。ターゲットとなる層の購買傾向、過去に売れたアイテムなどの調査を事前に行う。	
15	99-105	半期のまとめ	半期のまとめを行う。既存の資料を整理しておく事。	

後期授業計画 (10月-3月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1-8	職業実践専門課程：ポスターデザイン	企業連携の取り組み内容を復習し、ポスターデザインとしてまとめ、ビジュアルデザインと提案力を習熟する。事前に前項迄の関連する項目における復習と確認を行う。
2	9-16	職業実践専門課程：デザインワーク2	コーディネートデザイン提案を行い、製品企画としてのスキルを習熟する。事前に前項迄の関連する項目における復習と確認を行う。
3	17-24	職業実践専門課程：デザイン評価及び修正	デザインについて改善評価をいただき、売れる商品についてノウハウを学ぶ。事前に前項迄の関連する項目における復習と確認を行う。
4	25-32	トレンドワーク：デザインコーディネート	デザインの世界観がトータルで伝わるブラッシュアップを行い、実物制作に取り組む作品にふさわしいデザインに改善しそのスキルを習熟する。事前に参考する資料の収集を行っておく。
5	33-40	トレンドワーク：モデルフィッティング	卒業制作作品のモデルフィッティングを実施し、デザインイメージに合っているか、客観的に確認する。事前に参考する資料の収集を行っておく。
6	41-48	トレンドワーク：エントリーシート作成	卒業制作作品のエントリーシートの作成を行い、各自がデザイナーとして作品を伝えるスキルを習熟する。事前に参考する資料の収集を行っておく。
7	49-56	トレンドワーク：ヘアメイク案、コメント案	卒業制作作品におけるプレゼン資料作成を行い、デザイナーとして伝えるスキルを習熟する。事前に参考する資料の収集を行っておく。
8	57-64	トレンドワーク：グループワーク ドシエまとめ1	各グループのリサーチ資料を整理し、グループとして取り組んだ内容を振り返り作品の理解を深める。事前に各自が収集した資料の整理を行っておく事。
9	65-72	トレンドワーク：グループワーク ドシエまとめ2	リサーチ資料の不足点を見つけ、記録として残る作品にまとめ上げていく力を身に付ける。事前に各自が収集した資料の整理を行っておく事。
10	73-80	トレンドワーク：グループワーク ドシエまとめ3	各グループの軌跡が分かる資料をまとめ上げる力を身に付け、作品理解を深める。事前に各自が収集した資料の整理を行っておく事。
11	81-88	卒業記念展：ショープロデュース	デザイナーおよびフィッターとして、作品を伝えるスキルを習熟する。事前に参加するコンテストの概要について熟知しておく事。
12	89-96	トレンドワーク：ポートフォリオまとめ1	各グループのデザイン資料を整理し、ポートフォリオにまとめるスキルを習熟する。事前に収集した資料の整理、レイアウトデザインの参考資料の収集を行っておく事。
13	97-104	トレンドワーク：ポートフォリオまとめ2	実際のショーを通して得た情報も追記し、作品としてまとめ上げていく力を身に付ける。事前に収集した資料の整理、レイアウトデザインの参考資料の収集を行っておく事。
14	105-112	トレンドワーク：ポートフォリオまとめ3	デザイナーとして、美しい作品への理解を深め、作品を伝えるスキルを習熟する。事前に収集した資料の整理、レイアウトデザインの参考資料の収集を行っておく事。
15	113-120	まとめ	職業実践及び卒業記念展の制作物のまとめを行う。
準備学習 (予習・復習)		演習に関しては、1時間の演習に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、20時間の授業をもって1単位とする。	
その他 (授業に際しての注意点)		トレンドワークでの作品は卒業記念展への出品を前提として制作を行う。ソーイングⅡ、パターンメイキングⅡ、市場調査Ⅱ、服飾造形論Ⅱと連動し、それぞれとの因果を鑑み時間割は流動的に前後する場合がある。トレンドワークス作品は単品ではなくトップス、アウター、ボトムスを基本としたコーディネートで制作する。	

授業科目等の概要												
学科	服飾専門課程			ファッションデザイン科				2年				
D P/ 学科人材 育成像	学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、アパレル企業の企画・デザイナーを目指す。マーケットを理解し、トレンドと市場性を深め、売れる商品企画・ルックが提案できる人材を育成する。											
分類	必修	<input type="radio"/>	選択		配当年次	2	年	学期	通年	<input type="radio"/>	前期	後期
種別	総論						授業形態	講義	<input type="radio"/>	演習		実習
授業科目	服飾造形論Ⅱ						単位	1単位				
担当教員	今村 大祐						職業実践専門課程：企業との連携					
※実務家教員	<input type="radio"/>	今村：アパレル企業の営業企画での実務経験及び国家資格技能検定・婦人子供服製造技能士1級取得にて培ってきた、実務性の高い服飾造形に関する知識を教授する。										
資格検定												
授業概要	プロダクト全般に関する仕事を理解して、製造工程・縫製方法に関する知識、縫製機器の取り扱い、服飾付属品関連知識、素材の種類や生地の特徴に対応した裁断・芯貼り・縫製、また、補正に関する知識・技術を習得し、企画・デザイン・商品開発の実務に対応できる実践力を養う。											
学習成果	①	縫製に関する機材や用具について、正しい使用方法を習得する。					成績評価方法 (右記の評価を 基準に平均点で 算出)	1	定期試験結果	80	%	
	②	素材の特性に応じた技術を習得する。						2	提出物/期限遵守	10	%	
	③	服作りと職出しに活用できるスキルの習得。						3	独創性/習熟度		%	
	※	衣服制作の知識・技術の習得。						4	意欲・授業態度	10	%	
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化ファッション大系 服飾造形講座①②③④⑤ ●KFDオリジナルプリント配布</li> <li>●一般財団法人 日本ファッション教育振興協会：パターンメイキング技術検定試験2級ガイドブック</li> <li>●文化学園 文化事業局 テキスタイルハンドブック</li> </ul>											

前期授業計画 (4月-9月)			授業目的・準備学習 (予習・復習) 内容	
1	1	基本的な生地の扱い、地直しについて	基本的な素材やデザインに応じた取り扱い方を理解し習熟する。また、トワルについての注意点の復習を行う。	
2	2	特殊素材：ニット・カットソーについて	伸縮素材の知識、編み物の基礎について学ぶ。生地の特徴、パターンメイキング、裁断、縫製、適するデザイン等について。事前に自分が所持するカットソー製品について研究を行う。	
3	3	パンツについて、パンツ仕様書制作	基本的な仕様書の書き方や無駄な工賃がかからない用尺について理解し習熟する。事前に自分が所持する該当する製品について研究を行う。	
4	4	縫製仕様書の要点	デザイン、ディテールに適する縫製仕様等について。事前に自分が所持する任意の製品について研究を行う。	
5	5	3面構成ジャケット工程・仕様およびマニピレーション	3面構成ジャケットにおける工程と仕様、ジャケットマニピレーションの仕様について理解し習熟する。予習としてパターンメイキング技術検定試験2級ガイドブックの該当項目を理解する事。	
6	6	パターンメイキング業務に関する理論について1	パターンメイキング検定理論において、必要な知識を習熟し、造形の知識について理解を深める。予習としてパターンメイキング技術検定試験2級ガイドブックの該当項目を理解する事。	
7	7	パターンメイキング業務に関する理論について2	パターンメイキング検定理論において、必要な知識を習熟し、造形の知識について理解を深める。予習としてパターンメイキング技術検定試験2級ガイドブックの該当項目を理解する事。	
8	8	スカートのグレーディングについて	スカートグレーディングの知識及び技術を習熟する。予習としてパターンメイキング技術検定試験2級ガイドブックの該当項目を理解する事。	
9	9	身頃のグレーディングについて	身頃グレーディングの知識及び技術を習熟する。予習としてパターンメイキング技術検定試験2級ガイドブックの該当項目を理解する事。	
10	10	袖のグレーディングについて	袖のグレーディングの知識及び技術を習熟する。予習としてパターンメイキング技術検定試験2級ガイドブックの該当項目を理解する事。	
11	11	工業用パターンメイキングの知識について	生産用パターンにおける知識と技術を理解する。予習としてパターンメイキング技術検定試験2級ガイドブックの該当項目を理解する事。	
12	12	コートについて	オーバーコートというアイテムにおける基礎的な知識、ふらし仕立てについて学ぶ。また袖の運動量や2面構成の理解を深める。事前に自分が所持する該当する製品の仕様の研究を行う。	
13	13	コートの補正について	コートの制作で起こりえる代表的な不具合と補正について学ぶ。事前に自分が所持する該当する製品の仕様の研究を行う。	
14	14	コートの仕様書	制作するコートの仕様書を、デザイン、素材を鑑みて制作する。事前に自分が所持する該当する製品の仕様の研究を行う。	
15	15	半期のまとめ	半期のまとめを行い、おさらいをする。	

後期授業計画 (10月-3月)			授業目的・準備学習(予習・復習)内容
1	1	製造コスト・原価計算について	既製品製造におけるコストを考え、制作するアイテムの原価計算を行い、コスト意識の習熟を行う。事前にトレンドワーク作品で制作するアイテムに近い既製品アイテムのリサーチを行う事。
2	2	特殊素材：皮革素材、毛皮素材の知識と仕様	各種素材の種類と特徴を理解する。事前に自分が所持する該当する製品について研究を行う。
3	3	特殊素材：薄手素材、透ける素材について	薄手素材、透ける素材の基礎知識について学ぶ。生地の違い、パターンメイキング、裁断、縫製、適するデザイン等について。事前に自分が所持する該当する製品について研究を行う。
4	4	トレンドワーク作品：素材・裁断の取り扱いについて	各自クリエイション作品の素材における取り扱いと裁断について知識と技術を習熟する。事前にこれまでのアパレル素材論の復習を行う。
5	5	トレンドワーク作品：副資材について	各自クリエイション作品の副資材について知識と技術を習熟する。(既製品参照)事前にこれまでのアパレル素材論の復習を行う。
6	6	トレンドワーク作品：トワルについて	各自クリエイション作品のトワルを記録し、トワルから想定される副資材や生地の見積もりを行い、構造について理解を深める。事前に過去授業の型出し工程においての注意点への復習を行う。
7	7	トレンドワーク作品：見積りについて	各自クリエイション作品の無駄のない資材の準備調達についての理解を深める。事前に使用するテキスタイルの基本情報を整理しておく事。
8	8	トレンドワーク作品：縫製仕様書1	トレンドワークで制作するアイテムの仕様書をまとめ、理解を深める。事前に過去に制作した、属性の近いアイテムにて復習をする事。
9	9	トレンドワーク作品：縫製仕様書2	トレンドワークで制作するアイテムの仕様書をまとめ、理解を深める。事前に過去に制作した、属性の近いアイテムにて復習をする事。
10	10	トレンドワーク作品：縫製仕様書3	トレンドワークで制作するアイテムの仕様書をまとめ、理解を深める。事前に過去に制作した、属性の近いアイテムにて復習をする事。
11	11	トレンドワーク作品：マーキング	各自クリエイションのマーキングを行い、無駄のない用尺で裁断する知識と技術を習熟する。事前に使用するテキスタイルの基本情報を整理しておく事。
12	12	トレンドワーク作品：縫製工程分析1	トレンドワークで制作するアイテムの工程分析を行い、効率的な縫製能力を習熟する。事前に仕様を理解し、過去に制作したアイテムにて復習をする事。
13	13	トレンドワーク作品：縫製工程分析2	トレンドワークで制作するアイテムの工程分析を行い、効率的な縫製能力を習熟する。事前に仕様を理解し、過去に制作したアイテムにて復習をする事。
14	14	クリエイションの原価計算まとめ	各自クリエイションの原価計算を行い、デザイナーとして原価率を意識して適切にデザインすることで良い製品に繋がる事を理解する。事前に購入した各資材の領収書を整理し、制作にかかった時間の概算を行う。
15	15	半期のまとめ	半期のまとめを行い、おさらいをする。
準備学習 (予習・復習)		講義に関しては、1時間の講義に対し、教室外における2時間程度の準備または学習を必要とすることを考慮し、15時間の授業をもって1単位とする。	
その他 (授業に際しての注意点)		パターンメイキングⅡ、ソーイングⅡと連動し、それぞれとの因果を鑑み時間割は流動的に前後する場合がある。市場調査Ⅱで、制作するアイテムのディテールデザイン、仕様注目し既製品の仕様への理解を深め、仕様書の精度を高める。	